



フロントサラウンドシステム

MusicCast BAR 400

YAS-408

取扱説明書

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(5 ～ 10 ページ)を必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

■保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付

JA

目次

安全上のご注意	5
---------	---

注意とお知らせ	11
---------	----

はじめに	17
------	----

本機でできること	17
----------	----

付属品について	20
---------	----

リモコンについて	20
----------	----

各部の名称	22
-------	----

センターユニットの各部名称（前面/上面）	22
----------------------	----

センターユニットの各部名称（背面）	24
-------------------	----

サブウーファの各部名称	25
-------------	----

リモコンの各部名称	26
-----------	----

準備する	28
------	----

1 設置する	28
--------	----

センターユニットをテレビ台などに設置する	28
----------------------	----

2 本機とテレビを接続する	29
---------------	----

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する	29
-------------------------------	----

オーディオリターンチャンネル（ARC）非対応テレビを接続する	30
--------------------------------	----

3 本機と AV 機器を接続する	31
------------------	----

AV 機器を HDMI 接続する	31
------------------	----

AV 機器をアナログ接続する	31
----------------	----

4 電源コードを接続する	32
--------------	----

電源コードを接続する	32
------------	----

5 ネットワークに接続する	32
---------------	----

ネットワーク機能と MusicCast CONTROLLER アプリについて	32
--	----

有線ネットワークに接続する	33
---------------	----

無線ネットワークに接続する	34
---------------	----

MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）	34
---	----

再生する	38
------	----

基本操作	38
------	----

再生の基本手順	38
---------	----

お好みのサウンドを選ぶ	41
-------------	----

3D サラウンドで再生する	41
---------------	----

サラウンドで再生する	41
------------	----

2ch ステレオで再生する	41
---------------	----

人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）	42
---------------------	----

迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）	42
-------------------------	----

Bluetooth®機器を活用する	43
-------------------	----

Bluetooth®機器の音楽を聴く	43
--------------------	----

再生時に便利な機能.....	45
テレビのリモコンで本機を操作する (HDMI コントロール機能)	45
ニヶ国語放送の音声を切り替える.....	46
本機の設定や音声信号の情報を表示する.....	47
お気に入りのコンテンツを登録する.....	47
AirPlay で音楽を聴く.....	49
AirPlay で iTunes/iOS デバイスの音楽を再生する.....	49
メディアサーバー (パソコン/NAS) の曲を再生する.....	50
メディアサーバー (パソコン/NAS) の曲を再生する.....	50
インターネットラジオを聴く.....	51
インターネットラジオ局を選ぶ.....	51
インターネットラジオ局をブックマークに登録する.....	51
音楽配信サービスを楽しむ.....	53
radiko.jp でラジオを聴く.....	53
Deezer で高音質の音楽を聴く.....	53
Spotify Connect で高音質の音楽を聴く.....	54
モバイル機器の音楽を聴く.....	55
モバイル機器で曲を再生する.....	55

設定する	56
設定する.....	56
センターユニットのランプの明るさを調節する (ディマー)	56
HDMI コントロール機能を設定する.....	56
HDMI 音声出力を設定する.....	57
自動スタンバイ機能を設定する.....	58
タッチパネルの有効/無効を設定する (チャイルドロック機能)	58
ワイヤレスサラウンドスピーカーを使う (MusicCast サラウンド機能)	59
ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する.....	61
無線 (Wi-Fi) 接続の有効/ 無効を設定する.....	62
Bluetooth 機能の有効/ 無効を設定する.....	62
本機のファームウェアを更新する.....	63
センターユニットとサブウーファーを手動でペアリングする	64
初期設定に戻す.....	65
WAC 機能を使用して無線ネットワークに接続する.....	65
スピーカーのレベルを調整する.....	66
ダイナミックレンジ圧縮を設定する.....	67

付録	69
困ったときは (概要)	69
困ったときは (電源/動作全般)	69
困ったときは (音声)	72

困ったときは（Bluetooth®）	75
困ったときは（ネットワーク）	76
仕様.....	79
主な仕様（YAS-CU408）	79
主な仕様（NS-WSW43）	82
対応している HDMI 映像・音声信号フォーマット.....	82
対応しているデジタル音声信号フォーマット.....	83
対応しているファイルフォーマット.....	84
専門業者様へのご案内.....	85
センターユニットを壁に取り付ける.....	85

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造によりお客さまがけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。乾電池を使用している場合は、乾電池をこの機器から抜く。

- 電源コード／プラグが傷んだ場合
- 機器から異臭、異音や煙が出た場合
- 機器の内部に異物や水が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 機器に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストープなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げたり、加工しない
- 傷つけない
- 重いものをのせない

芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



禁止

落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らない。感電の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、ほかの機器に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

火災または感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



必ず実行

雷が鳴り出したら、早めに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

火災や故障の原因になります。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

設置



必ず実行

取扱説明書で指示された方法で設置する。
落下や転倒して、けがや破損の原因になります。



必ず実行

設置後は必ず安全性を確認する。定期的に安全点検を実施する。
落下や転倒して、けがをする可能性があります。

分解禁止



禁止

この機器を分解したり改造したりしない。
火災、感電、けが、または故障の原因になります。

水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかる場所で使用しない。
- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手でこの機器を扱わない。
感電や故障の原因になります。

火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

取り扱い



禁止

この機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
感電や火災、または故障のおそれがあります。

乾電池



禁止

- コイン／ボタン電池を飲み込まない。
- 使用済みを含む、すべてのコイン／ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かない。
- 電池ケースが破損したりリモコンを乳幼児の手の届くところに置かない。

本製品に付属するリモコンはコイン／ボタン電池を内蔵しています。コイン／ボタン電池を飲み込んだ場合、2時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡する可能性があります。万一、コイン／ボタン電池を飲み込んでしまった可能性がある場合は、すぐに医師にご相談ください。



禁止

乾電池を分解しない。
乾電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、失明や化学やけどなどのおそれがあります。



禁止

- 乾電池を火の中に入れない。
 - 乾電池を日光や火のような高温に晒さない。
- 破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は充電しない。
充電すると破裂や液漏れの原因になり、失明や化学やけど、
けがなどのおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口
に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、
医師にご相談ください。

ワイヤレス機器



禁止

医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使
用しない。
この機器が発する電波により、医療用電気機器の動作に影
響を与えるおそれがあります。



禁止

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から 15cm 以内で
使用しない。
この機器が発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動
作に影響を与えるおそれがあります。



注意

「傷害を負う可能性が想定され
る」内容です。

電源



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使
用しない。
火災、感電、やけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源
プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあり
ます。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほ
こりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所に置かない。
この機器が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。



禁止

この機器を設置する際は、放熱を妨げない。

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 通風孔(放熱用スリット)をふさがない。
- 指定以外の方法でこの機器を設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になります。本機の周囲に上 10cm、左右 10cm、背面 10cm 以上 (サブウーファーは上 20cm、左右 20cm、背面 20cm 以上) のスペースを確保してください。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。

故障の原因になります。



禁止

地震など災害が発生した場合はこの機器に近づかない。

この機器が転倒または落下して、けがの原因になります。



必ず実行

この機器を移動する前に、必ず電源スイッチを切り、接続ケーブルをすべて外す。

ケーブルを傷めたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

本機を壁に取り付ける場合は、必ずお買い上げの販売店または専門の施工業者に依頼する。

この機器が落下して、けがや破損の原因になります。工事には、技術と経験が必要です。

聴覚障害



禁止

大きな音量で長時間この機器を使用しない。

聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをする前に、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

この機器の開口部に手や指を入れない。

けがの原因になります。



禁止

この機器の開口部から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、または故障の原因になります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止

以下のことをしない。

- この機器の上に乗る。
- この機器の上に重いものを載せる。
- この機器を重ねて置く。
- ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える。
- この機器にぶら下がる。
- この機器に寄りかかる。

けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。



禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。

接続されたケーブルを引っ張ると、機器が転倒して破損したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

音がはずんだ状態ではこの機器を使用しない。

機器が発熱し、火災の原因になることがあります。

乾電池



禁止

指定以外の電池を使用しない。

火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



禁止

乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池をリモコンから抜いておく。

乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、炎症やリモコンの損傷の原因になります。



必ず実行

乾電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。

他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

注意とお知らせ

注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

電源

- この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。[○](スタンバイ／オン)で本機をオフ(スタンバイ)状態にしても微電流が流れています。

設置

- テレビやラジオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

接続

- 外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。
- 業務用機器とは接続しないでください。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

無線機能の取り扱い

- この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
 - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

取り扱い

- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色／変質する原因になります。
- 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。

お手入れ

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色／変質する原因になります。

スピーカー

- スピーカーユニットには触れないようにしてください。スピーカーユニットが破損する原因になります。

廃棄について

- 使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

製品に搭載されている機能に関するお知らせ

- この製品は、日本国内専用です。
- この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。
- バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、この機器の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。
- この製品で利用可能な第三者が提供するサービスについては、予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

無線機能に関するお知らせ

- 本製品は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しています。
- 5.2GHz 帯 (W52) と 5.3GHz 帯 (W53) は、電波法により屋内での使用に限られています。

(Wi-Fi)

2.4 DS/OF 4

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備

「DS/OF」：変調方式は DS-SS および OFDM 方式

「4」：想定干渉距離が 40 m 以内

■■■■ ■■■■ ■■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)

2.4 FH 1

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備

「FH」：変調方式は周波数ホッピング (FH-SS 方式)

「1」：想定干渉距離が 10 m 以内

■■■■ ■■■■ ■■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(センターユニットとワイヤレスサブウーファー間の通信)

2.4 XX 1

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備

「XX」：変調方式はその他の方式

「1」：想定干渉距離が 10 m 以内

■■■■ ■■■■ ■■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(5GHz 帯周波数範囲と対応チャンネル)

5.2GHz 帯 (W52) :

5180 ~ 5240MHz (36ch、40ch、44ch、48ch)

5.3GHz 帯 (W53) :

5260 ~ 5320MHz (52ch、56ch、60ch、64ch)

5.6GHz 帯 (W56) :

5500 ~ 5700MHz (100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、

120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch)

本製品の銘板に関するお知らせ

(センターユニット)

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

商標などに関するお知らせ



DOLBY
AUDIO

COMPATIBLE

DOLBY
VISION

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Dolby Audio、Pro Logic、Dolby Vision 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTSの特許に関しては<http://patents.dts.com>をご覧ください。

本製品は DTS, Inc. のライセンスに基づき製造しています。DTS、そのシンボルマーク、DTS とそのシンボルマークの組み合わせ、DTS Digital Surround、DTS Virtual:X は米国及びその他の国々における DTS, Inc. の登録商標又は商標です。

© DTS, Inc. All Rights Reserved.



AAC ロゴマーク (マーク) はドルビーラボラトリーズの商標です。



Works with
Apple AirPlay

この AirPlay 2 対応スピーカーをコントロールするには、iOS 11.4 以降が必要です。

Works with Apple バッジを表記したアクセサリーは、バッジが表す技術に適合するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定されたアクセサリーであることを示します。

Apple、AirPlay、Apple TV、Apple Watch、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPhone、Lightning、iTunes は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

日本国内において、iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

App StoreSM

App Store は Apple Inc. のサービスマークです。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

x.v.Color™

「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。

Windows®

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™ Google Play™

Android、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi および Wi-Fi CERTIFIED は Wi-Fi Alliance の登録商標です。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



Spotify および Spotify ロゴは Spotify Group の登録商標です。

Spotify のソフトウェアは、次に記載のサードパーティソフトウェアを利用しています。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses



「ラジコ」、「radiko」および radiko ロゴは株式会社 radiko の登録商標です。



Deezer および Deezer ロゴはフランスおよびその他の国に登録済みの Deezer S.A.の登録商標です。

Blu-ray™

「ブルーレイ™」および「ブルーレイディスク™」はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。



MusicCast は、ヤマハ株式会社の商標または登録商標です。



ヤマハエコラベルは、優れた環境性能を備えた製品として、ヤマハグループが認定するマークです。

GPL/LGPL について

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様は GPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。

GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

<https://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>

ライセンス情報

本製品が使用するサードパーティソフトウェアについては、次で確認できます。

[http://\(本製品の IP アドレス*\)/licenses.html](http://(本製品の IP アドレス*)/licenses.html)

* 本製品の IP アドレスは MusicCast CONTROLLER で確認できます。

本書の記載内容に関するお知らせ

- 本書は以下の方を対象とした取扱説明書です。

- 本機をお使いになる方
- 本機を壁に設置する工事業者や販売店の方

- 本書では注意事項などを以下のように分類しています。

- **警告**

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- **注意**

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

- **注意**

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

- **お知らせ**

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

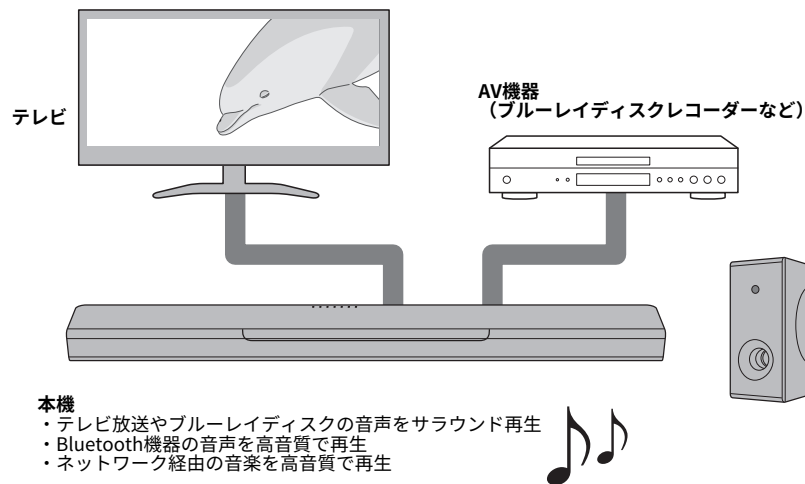
- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。
- 本書では iOS および Android が搭載された携帯端末を総称して「モバイル機器」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。

はじめに

本機でできること

概要

本機はご家庭のテレビで迫力のサウンドをお楽しみいただけるフロントサラウンドシステムです。



3D サラウンドモード

DTS Virtual:X を使用して、水平方向だけでなく、高さ方向の表現を伴ったサラウンド再生をお楽しみいただけます。詳しくは次をご覧ください。

- 「3D サラウンドで再生する」(41 ページ)

4K/HDR (ハイダイナミックレンジ) 映像の伝送に対応

衛星/ケーブルチューナーやブルーレイディスクレコーダーの高精細な映像をお楽しみいただけます。詳しくは次をご覧ください。

- 「対応している HDMI 映像・音声信号フォーマット」
(82 ページ)

HDMI コントロール機能

テレビと本機を、テレビのリモコン 1 つで連動操作できます。また、本機は ARC (オーディオリターンチャンネル) に対応しているため、ARC 対応テレビをお使いの場合は HDMI ケーブル 1 本で接続できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「テレビのリモコンで本機を操作する (HDMI コントロール機能)」
(45 ページ)
- 「オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応テレビを接続する」
(29 ページ)

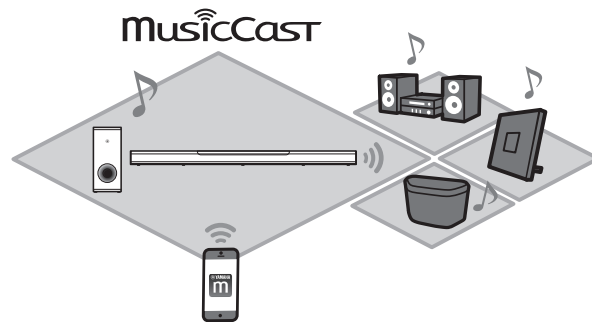
Bluetooth®機器の再生に対応

Bluetooth 対応のスマートフォンやタブレット、パソコンなどの音声を、本機で手軽に再生できます。また、独自の音質特性改善技術「ミュージックエンハンサー」により、圧縮前の音源が持つ深みやみずみずしさをお楽しみいただけます。詳しくは次をご覧ください。

- 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(43 ページ)

MusicCast で音楽を自在に再生

サーバーの音楽や、インターネットラジオ、ストリーミングサービスなどを本機で楽しむことができます。また、ホームネットワークに接続された他の MusicCast 機器に配信し、同時に再生できます。



モバイル機器専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使うと、入力ソースや再生する曲の選択、音量などを簡単に操作できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「ネットワーク機能と MusicCast CONTROLLER アプリについて」
(32 ページ)

また、MusicCast については弊社ウェブサイトもご覧ください。

バスエクステンション

バスエクステンションにより、不足しがちな低音を増強し、迫力のある音を再現します。詳しくは次をご覧ください。

- 「迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）」
(42 ページ)

クリアボイス

クリアボイスにより、人の声（セリフやアナウンスなど）を聞き取りやすくできます。詳しくは次をご覧ください。

- 「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」 (42 ページ)

付属品について

付属品を確認する

付属品がすべて揃っていることを確認してください。



☐ センターユニット (YAS-CU408)



☐ リモコン
※ リチウムコイン電池
(CR2025) はセット
済みです。



☐ ワイヤレスサブウーファー
(NS-WSW43)
※本書では「サブウーファー」
と表記します。



☐ 電源コード (2本)



☐ 光デジタルケーブル



☐ 取扱説明書
(本書)



☐ 保証書

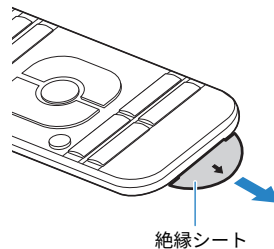


☐ 取付用テンプレート
※ センターユニットを壁に設置する際に使用します。

リモコンについて

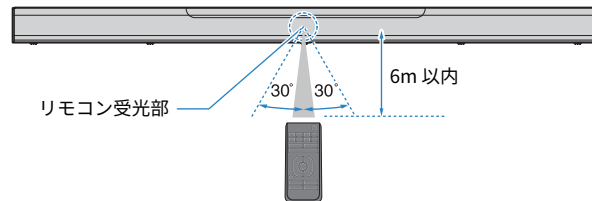
リモコンを準備する

電池の絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。



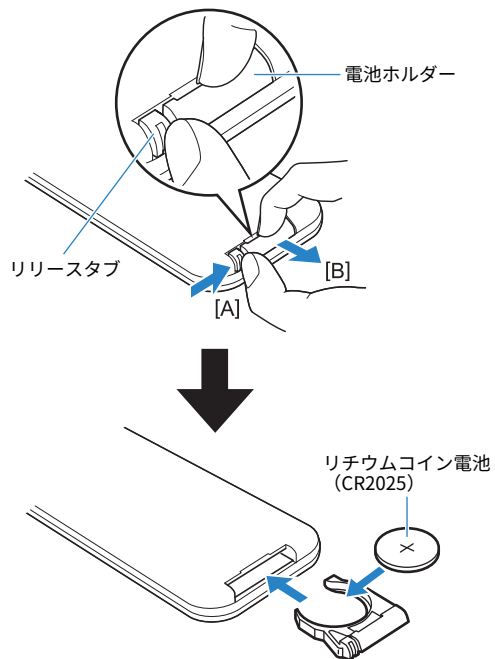
リモコンの操作範囲

センターユニット正面のリモコン受光部にリモコンを向け、次の範囲内で操作してください。



リモコンの電池を交換する

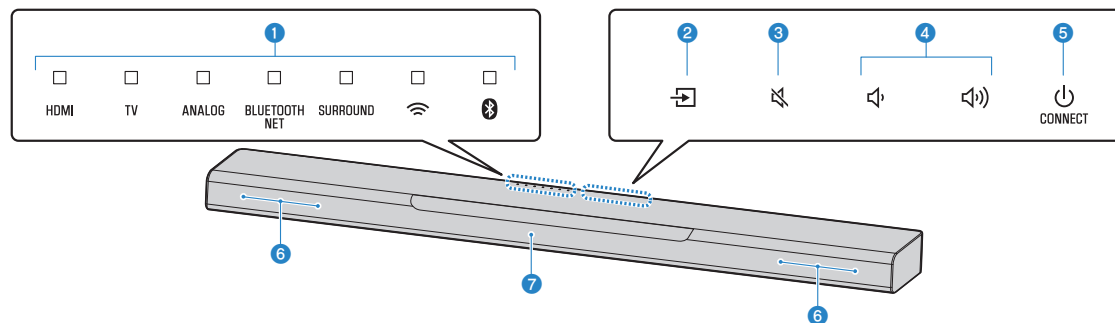
リリースタブを[A]方向にしっかりと押しながら、電池ホルダーを[B]方向にゆっくりと引き出します。古い電池を取り出して、新しい電池と交換してください。



各部の名称

センターユニットの各部名称（前面/上面）

センターユニットの前面/上面の名称と機能について説明します。



① ランプ

ランプが点滅/点灯することで、操作や設定状況を示します。本書ではランプの消灯/点灯/点滅を次のように表わしています。

□ : 消灯

■ : 点灯

☀ : 点滅

お知らせ

リモコンのディマーボタンを押すと、ランプの明るさを調節できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「センターユニットのランプの明るさを調節する（ディマー）」（56 ページ）

② ㊦（入力切換）

再生する機器を選びます（38 ページ）。

③ ㊦（消音）

消音します（38 ページ）。もう一度タッチすると消音を解除します。

④ ㊦/㊦（音量+/-）

音量を調節します（38 ページ）。

⑤ ㊦ (電源) /CONNECT (コネクト)

本機の電源をオン/オフします。

また、MusicCast CONTROLLER アプリを使って、本機をネットワークに接続するときに使います (34 ページ)。

お知らせ

自動スタンバイ機能を有効にすると、自動的に電源を切ることができます。詳しくは次をご覧ください。

- 「自動スタンバイ機能を設定する」(58 ページ)

⑥ スピーカー

⑦ リモコン受光部

本機のリモコンの赤外線信号を受信します (20 ページ)。

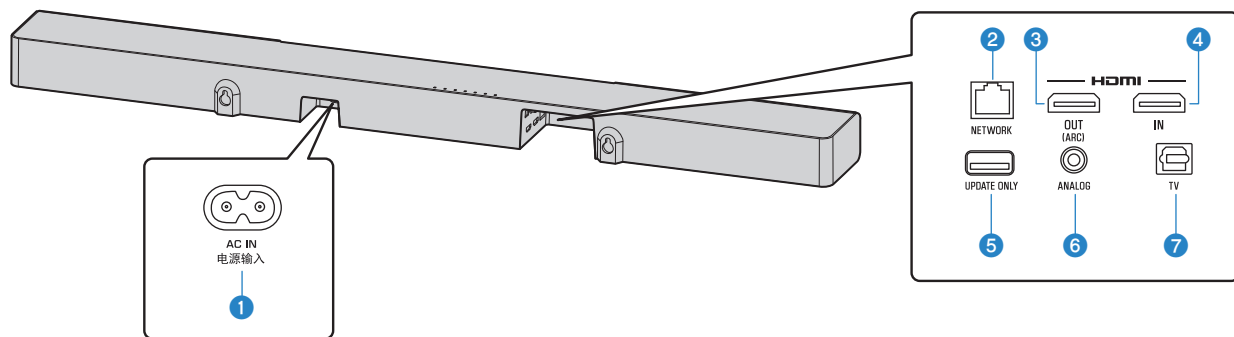
お知らせ

- ㊦～㊧ はタッチセンサーです。指先がマークの上に触れると反応します。
- 意図しない動作を防ぐため、タッチパネルの上にものを置かないでください。
- タッチパネルを無効にすると、本体のタッチパネルの操作ができなくなり、誤操作を防止できます。
-「タッチパネルの有効/無効を設定する (チャイルドロック機能)」(58 ページ)

センターユニットの各部名称（背面）

センターユニット背面の名称と機能について説明します。

本書では、端子の位置を分かりやすくするため、端子の横に本体底面のラベルを表示しています。



① AC IN 端子

センターユニットの電源コードを接続します（32 ページ）。

② NETWORK（ネットワーク）端子

本機をネットワークに接続します（33 ページ）。

③ HDMI OUT（ARC）端子

HDMI 入力対応のテレビを接続し、映像/音声を出力します（29 ページ）。ARC 使用時は、テレビ音声の入力も可能です。

④ HDMI IN 端子

BD（ブルーレイディスク）/DVD レコーダーや衛星放送/ケーブルテレビ/ネットワーク動画配信サービスのチューナー、ゲーム機など、HDMI 出力対応の AV 機器を接続し、映像/音声を入力します（31 ページ）。

⑤ UPDATE ONLY（アップデート専用）端子

本機のファームウェアをアップデートするときに使います。

詳細については、ファームウェアに添付される説明書をご覧ください。

⑥ ANALOG（アナログ）入力端子

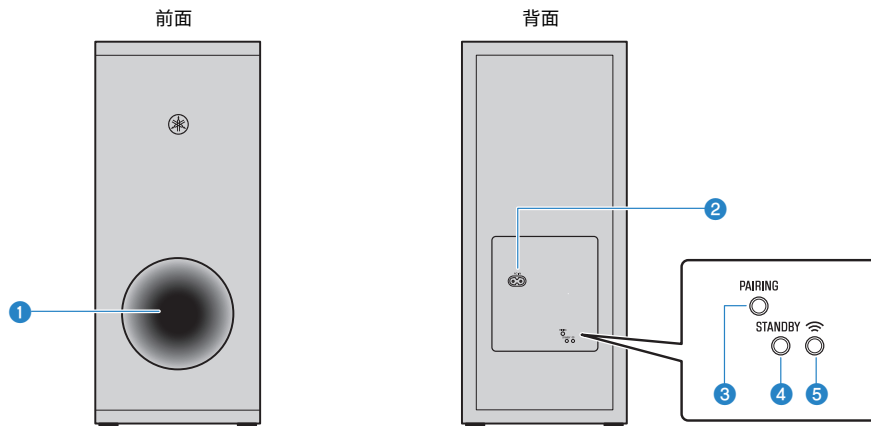
3.5mm ステレオミニプラグケーブルを使って外部機器を接続し、音声を入力します（31 ページ）。

⑦ TV 入力端子

光デジタルケーブルを使ってテレビを接続し、音声を入力します（30 ページ）。

サブウーファーの各部名称

ワイヤレスサブウーファーの名称と機能について説明します。



① バスレフポート

② AC IN 端子

サブウーファーの電源コードを接続します (32 ページ)。

③ PAIRING (ペアリング) ボタン

センターユニットとサブウーファーを手動でペアリングするとき に使います (64 ページ)。

④ STANDBY (スタンバイ) ランプ

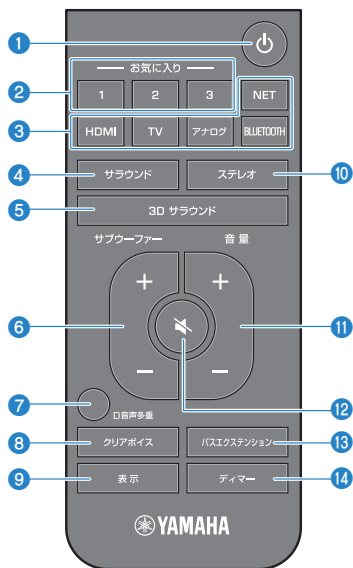
サブウーファーの状態を表示します (26 ページ)。

⑤ 電灯ランプ

センターユニットとサブウーファーが接続すると点灯します。

リモコンの各部名称

リモコンの名称と機能について説明します。



① 電源 (電源) ボタン

本機の電源をオン/オフします。

センターユニット

電源オン



前回選んだ音声ソースのランプが点灯

電源オフ/ネットワーク スタンバイ状態 (61 ページ)



サブウーファー

電源オン



電源オフ/ネットワーク スタンバイ状態 (61 ページ)



② お気に入り (1~3) ボタン

インターネットラジオ局やサーバーの音楽ファイルなど、ネットワーク経由の音声コンテンツを「お気に入り」に登録します (47 ページ)。

③ 入力ボタン

再生する音声ソースを選びます。

- HDMI ボタン：HDMI IN 端子に接続した機器の音声 (31 ページ)
- TV ボタン：テレビの音声 (29 ページ)
- アナログボタン：ANALOG (アナログ) 入力端子に接続した機器の音声 (31 ページ)
- BLUETOOTH ボタン：Bluetooth 機器の音声 (43 ページ)
- NET ボタン：ネットワーク経由の音声 (38 ページ)

④ サラウンドボタン

サラウンド再生に切り替えます (41 ページ)。

⑤ 3D サラウンドボタン

3D サラウンド再生に切り替えます (41 ページ)。

⑥ サブウーファー（+/-）ボタン

サブウーファーの音量を調節します
(38 ページ)。

⑦ D 音声多重ボタン

地上デジタル/BS デジタル放送（モノラル
多重音声）の主音声/副音声を切り替えま
す（46 ページ）。

⑧ クリアボイスボタン

クリアボイス機能の有効/無効を切り替え
ます（42 ページ）。

⑨ 表示ボタン

再生中の音声信号の種類やバスエクステ
ンション機能など、本機の設定を表示しま
す（47 ページ）。

⑩ ステレオボタン

ステレオ再生（2ch ステレオ）に切り替え
ます（41 ページ）。

⑪ 音量（+/-）ボタン

本機の音量を調節します（38 ページ）。

⑫ （消音）ボタン

消音します（38 ページ）。もう一度押す
と消音を解除します。

⑬ バスエクステンションボタン

バスエクステンション機能の有効/無効を
切り替えます（42 ページ）。

⑭ ディマーボタン

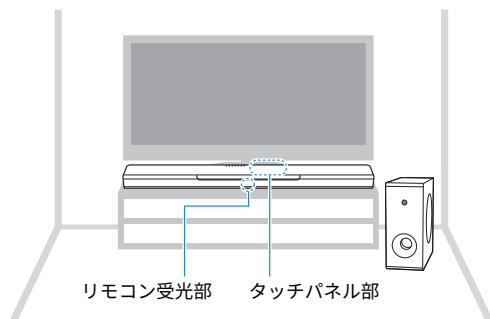
ランプの明るさを切り替えます
(56 ページ)。

準備する

1 設置する

センターユニットをテレビ台などに設置する

センターユニットのタッチパネル部を上にして、テレビ台の上などにセンターユニットを設置します。



注意

- センターユニットやサブウーファー、BD レコーダーなどを直接重ねないでください。振動により機器が故障することがあります。
- サブウーファーのスピーカーユニット部（布の部分）には手をかけないでください。スピーカーを破損するおそれがあります。
- サブウーファーのスピーカーユニット部（布の部分）を壁に密着させたり、バスレフポートをふさいだりしないでください。音声十分に聞こえなくなります。
- サブウーファーは縦置き専用です。横向きに設置しないでください。
- 本機は非防磁のスピーカーを搭載しています。故障の原因となりますので、ハードディスクドライブなどの磁気に弱い機器をサブウーファーの近くに設置しないでください。
- センターユニットとサブウーファーは無線で通信しています。通信に影響が出ますので、センターユニットとサブウーファーの間に、金属製の家具や機器など、無線が遮られるようなものを設置しないでください。

お知らせ

センターユニットは、壁に取り付けることもできます。センターユニットを安全に取り付けるには専門的な知識が必要です。取付工事は専門業者、または販売店に依頼してください。

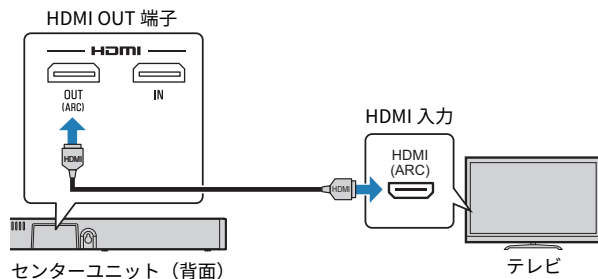
詳しくは次をご覧ください。

- 「専門業者様へのご案内」（85 ページ）

2 本機とテレビを接続する

オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応テレビを接続する

ARC 対応の HDMI ケーブル (市販品) を使って、本機にオーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビを接続します。



オーディオリターンチャンネル (ARC) とは

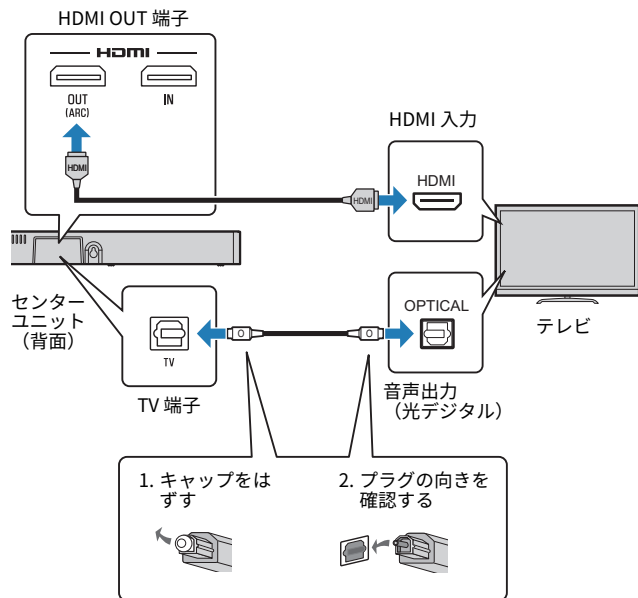
テレビが ARC に対応している場合は、本機からテレビに映像を送る HDMI ケーブルを使って、テレビの音声を本機に入力することができます。1 本の HDMI ケーブルで双方向の音声信号伝送が可能になるため、HDMI ケーブルとは別に音声ケーブルを接続する必要がありません。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、テレビのオーディオリターンチャンネル対応端子 (「ARC」などの表示のある端子) に接続してください。
- オーディオリターンチャンネル (ARC) を有効にするには、本機の HDMI コントロール機能を有効にしてください。詳しくは次をご覧ください。
 - 「HDMI コントロール機能を設定する」 (56 ページ)
- HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル (19 ピン) をお使いください。また、信号の品質劣化を防ぐため、長さが 5.0 メートル以下のケーブルをおすすめします。
- 3D 映像、4K 映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。
- 本機は著作権保護技術 HDCP2.2 に対応しています。4K 映像をお楽しみになる場合は、HDCP2.2 対応テレビの HDMI 入力端子 (HDCP2.2 対応の端子) に接続してください。
- オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビを接続した場合、TV 入力端子は使用できません。

オーディオリターンチャンネル (ARC) 非対応テレビを接続する

HDMI ケーブル (市販品) と付属の光デジタルケーブルを使って、本機にテレビを接続します。



お知らせ

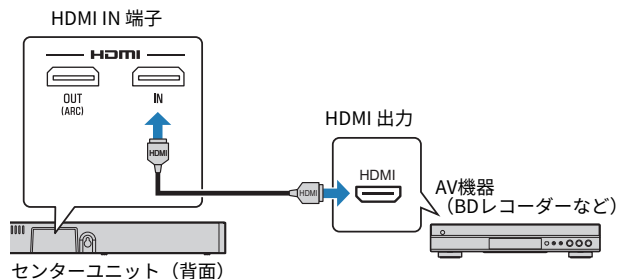
- HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル (19 ピン) をお使いください。また、信号の品質劣化を防ぐため、長さが 5.0 メートル以下のケーブルをおすすめします。

- 3D 映像、4K 映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。
- 本機は著作権保護技術 HDCP2.2 に対応しています。4K 映像をお楽しみになる場合は、HDCP2.2 対応テレビの HDMI 入力端子 (HDCP2.2 対応の端子) に接続してください。
- テレビに光デジタル端子がない場合は、テレビの音声出力をアナログ接続します。詳しくは次をご覧ください。
 - 「AV 機器をアナログ接続する」(31 ページ)

3 本機と AV 機器を接続する

AV 機器を HDMI 接続する

HDMI ケーブル（市販品）を使って、本機に AV 機器（BD/DVD レコーダーなど）を接続します。AV 機器に HDMI 出力端子がある場合は、HDMI 接続をおすすめします。

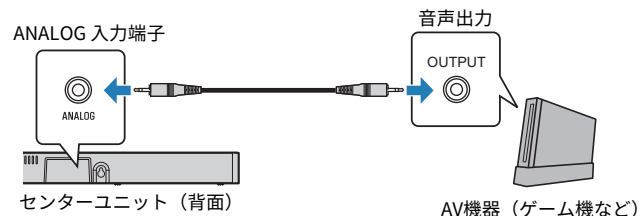


お知らせ

- 本機の HDMI コントロール機能を有効にすると、本機の電源がオフのときでもテレビで AV 機器の映像や音声を再生できます（HDMI 信号パススルー）。詳しくは次をご覧ください。
 - 「HDMI コントロール機能を設定する」（56 ページ）
- HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル（19 ピン）をお使いください。また、信号の品質劣化を防ぐため、長さが 5.0 メートル以下のケーブルをおすすめします。
- 3D 映像、4K 映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。
- 本機は著作権保護技術 HDCP2.2 に対応しています。4K 映像をお楽しみになる場合は、HDCP2.2 対応 BD/DVD レコーダーの HDMI 出力端子に接続してください。

AV 機器をアナログ接続する

3.5mm ステレオミニプラグケーブル（市販品）を使って、本機に AV 機器を接続します。光デジタル音声出力端子がないテレビや、ゲーム機などのアナログ出力に対応します。



注意

- 本機のアナログ入力端子に接続した機器側で音量調節ができる場合は、予想以上の大音量になるのを避けるため、HDMI IN 端子に接続した機器と同程度の音量になるように調節してください。

お知らせ

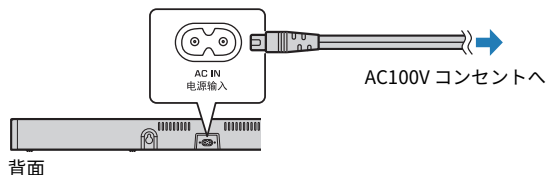
映像出力がある AV 機器を接続する場合は、映像出力端子をテレビの映像入力端子に直接接続してください。

4 電源コードを接続する

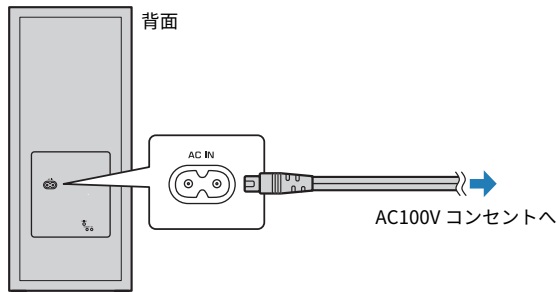
電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、付属の電源コードをセンターユニットとサブウーファーそれぞれに接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

センターユニット



サブウーファー



5 ネットワークに接続する

ネットワーク機能と MusicCast CONTROLLER アプリについて

本機をネットワークに接続すると、インターネットラジオや AirPlay、パソコン（サーバー）に保存されている音楽ファイルを本機で再生できます。

ほとんどの再生は、モバイル機器専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」が必要になります。モバイル機器に MusicCast CONTROLLER アプリをインストールし、アプリを操作して音楽ファイルを再生します。

ネットワークの接続から再生までを以下の順序で進めてください。

- ① 有線ネットワーク接続（33 ページ）または無線ネットワーク接続（34 ページ）を選ぶ
- ② MusicCast CONTROLLER アプリを使って本機をネットワークに接続し、MusicCast 機器として登録する（34 ページ）
- ③ MusicCast CONTROLLER アプリ* を使ってネットワーク経由の音楽を再生する（50 ページ、51 ページ、53 ページ、54 ページ、55 ページ）

* AirPlay は MusicCast CONTROLLER アプリを使わなくても再生できます。

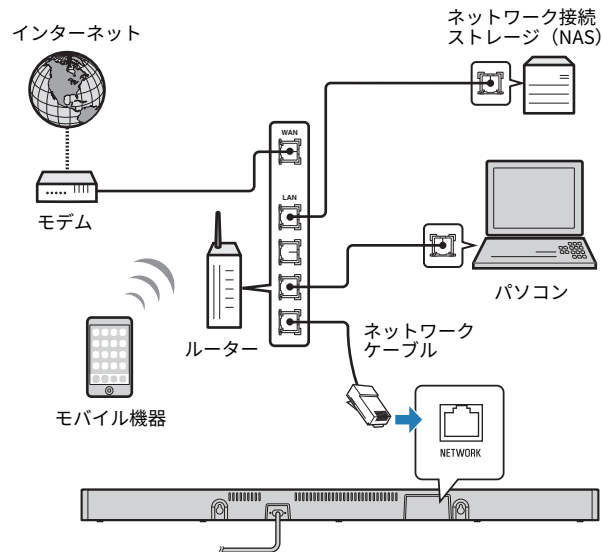
お知らせ

- ネットワークを利用するには、本機とパソコンやモバイル機器が同じルーターに接続されている必要があります。
- マルチ SSID 対応ルーターでは、接続する SSID により他の機器へのアクセスが制限されることがあります。本機とモバイル機器は同じ SSID に接続してください。

- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- ルーターの MAC アドレスフィルタが有効になっている場合は接続できません。ルーターの設定を確認してください。
- サブネットを手動で設定する際は、すべて本機と同じサブネットに設定してください。
- インターネットサービスは、ブロードバンド回線の使用をおすすめします。
- 本機は手動で設定が必要なネットワークには接続できません。DHCP が有効なルーターに接続してください。

有線ネットワークに接続する

有線ネットワークを利用するには、市販の STP ネットワークケーブル（CAT-5 以上のストレートケーブル）を使って、本機をルーターに接続します。



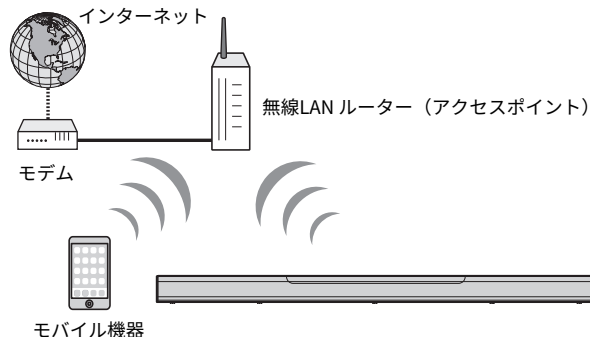
お知らせ

ネットワークの接続や設定を変更した場合は、もう一度 MusicCast CONTROLLER アプリを使って本機をネットワークに接続し、MusicCast 機器として登録してください（34 ページ）。

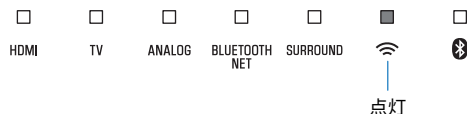
無線ネットワークに接続する

本機を無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続してネットワークを利用します。接続方法について、詳しくは次をご覧ください。

- ・「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）
- ・「WAC 機能を使用して無線ネットワークに接続する」（65 ページ）



無線ネットワークに接続すると、本機のランプが点灯します。



お知らせ

本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合は本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。

MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）

モバイル機器に MusicCast CONTROLLER アプリをインストールして本機をネットワークに接続し、MusicCast 機器として登録します。

お知らせ

- ・お使いになるモバイル機器がご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- ・MusicCast CONTROLLER アプリの画面は iPhone の表示例です。
- ・MusicCast CONTROLLER の画面、メニュー名称などは予告なく変更される場合があります。

1 モバイル機器に MusicCast CONTROLLER アプリをインストールし、アプリを開く。

Apple Store または Google Play で「MusicCast CONTROLLER」を検索して、インストールしてください。

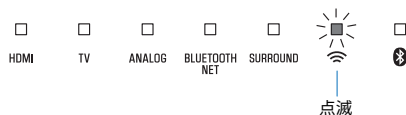
2 「設定する」をタップする。



3 本機の電源をオンにし、「次へ」をタップする。



4 本機上面の🔼ランプが点滅するまで ❶/CONNECT を押す。



5 画面の案内に従ってネットワークを設定する。

お知らせ

以下の画面が表示された場合は、画面の案内に従ってネットワークを設定してください。



1. モバイル端末のホームボタンを使って、ホーム画面に戻る。
2. 「設定」から「Wi-Fi」を選ぶ。
3. 「ネットワークを選択...」から「MusicCastSetup」を選ぶ。
MusicCastSetup のパスワードを聞かれたら、この画面に表示されているパスワードを入力してください。
4. ホームボタンを使って MusicCast Controller アプリに戻る。

以下の画面が表示された場合は、本機を接続するネットワークを選び、ルーターのパスワード（暗号化キー）を入力してください。ルーターのパスワード（暗号化キー）は、ルーター本体などに表示されています。ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。



- ロケーション名（自宅、Aさんの家など）
- 設置した部屋の名前、写真

ロケーション名、設置した部屋の名前、写真は後から変更できます。

ローケーション名 キャンセル

ローケーション名を入力してください

Home1

この名前はMulti-Center機能を管理、操作する単位の名称として使われます。(例: 品名、施設、など)

後からでも変更可能です。

36 | 準備する

お知らせ

MusicCast CONTROLLER アプリに別の MusicCast 機器をすでに登録してある場合、本機をアプリに追加するにはルーム選択画面で⚙️（設定）をタップし、「新しい機器を登録する」を選んでください。

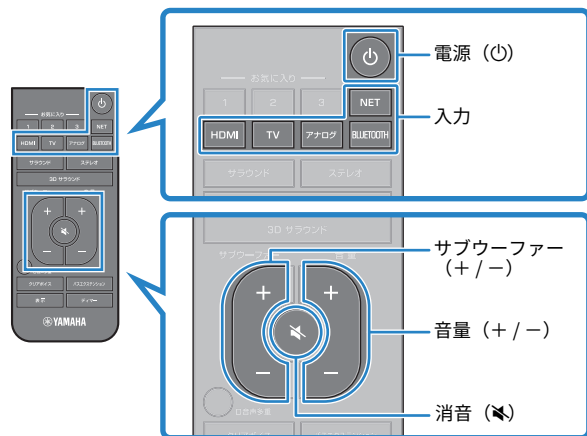


再生する

基本操作

再生の基本手順

音楽を再生する場合の基本的な操作方法を説明します。



1 電源 ボタンを押して、本機の電源をオンにする。

センターユニットとサブウーファーは自動的に無線接続されます。接続が完了するとサブウーファー背面のランプが点灯し、再生できるようになります。

2 本機に接続した外部機器（テレビ、BD/DVD レコーダー、ゲーム機など）の電源をオンにする。

3 AV 機器の接続に合わせて入力ボタンを押し、視聴する機器の入力を選ぶ。

HDMI ボタン：HDMI IN 端子に接続した機器の音声

TV ボタン：テレビの音声

アナログボタン：アナログ端子に接続した機器の音声

BLUETOOTH ボタン：Bluetooth 機器の音声

NET ボタン：ネットワーク経由の音声

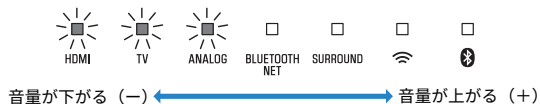
選択した入力のランプが点灯します。

例：TV 選択時



4 手順 3 で選択した機器を再生する。

5 音量（+/-）ボタンで音量を調節する。



テレビのスピーカーと本機の両方から音声出力されている場合は、テレビを消音してください。

6 お好みのサウンドに設定する。

お知らせ

- 初めて電源をオンにしたときに、サブウーファー背面のランプが点灯しない場合は、次をご覧ください。
 - 「サブウーファーから音が出ない」(72 ページ)
- サウンドの設定について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「3D サラウンドで再生する」(41 ページ)
 - 「サラウンドで再生する」(41 ページ)
 - 「2ch ステレオで再生する」(41 ページ)
 - 「人の声を明瞭に再生する (クリアボイス)」(42 ページ)
 - 「迫力がある低音を楽しむ (バスエクステンション)」(42 ページ)
- Bluetooth 機器の再生について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」(43 ページ)
- ネットワーク経由の音声の再生について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「AirPlay で iTunes/iOS デバイスの音楽を再生する」(49 ページ)
 - 「メディアサーバー (パソコン/NAS) の曲を再生する」(50 ページ)
 - 「インターネットラジオ局を選ぶ」(51 ページ)
 - 「radiko.jp でラジオを聴く」(53 ページ)
 - 「Deezer で高音質の音楽を聴く」(53 ページ)
 - 「Spotify Connect で高音質の音楽を聴く」(54 ページ)
 - 「モバイル機器で曲を再生する」(55 ページ)

- 一時的に本機を消音するには、 ボタンを押します。消音を解除するには、再度  ボタンを押してください。



点滅 (消音中)

- HDMI 入力音声をテレビから出力している場合は、音量 (+/-) ボタンや  ボタンを押しても音量は変化しません。
- サブウーファースの音量は、サブウーファー (+/-) ボタンで調節します。サブウーファースの音量は、全体の音量と独立して設定できます。



音量が下がる (-) ←  音量が上がる (+)

- テレビに接続した再生機器の音声や映像を試聴する場合は、本機の入力は「テレビ」に設定し、テレビ側の入力切替で再生機器を選んでください。

お好みのサウンドを選ぶ

3D サラウンドで再生する

3D サラウンドボタンを押して、再生する音源やお好みに合わせて 3D サラウンド再生に切り替えます。

3D サラウンド再生を選ぶと、DTS Virtual:X を使用して、水平方向だけでなく、高さ方向の表現を伴ったサラウンド再生を楽しむことができます。

SURROUND ランプは青色に点灯します。



お知らせ

専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」をモバイル機器にインストールし、アプリを使って本機を MusicCast ネットワークに登録すると、サラウンドモード (TV 番組/映画/音楽/スポーツ/ゲーム) を選択することができます。本機の MusicCast ネットワーク登録について、詳しくは次をご覧ください。

- 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する (本機を MusicCast 機器として登録する)」(34 ページ)

サラウンドで再生する

サラウンドボタンを押して、再生する音源やお好みに合わせてサラウンド再生に切り替えます。

SURROUND ランプは白色に点灯します。



お知らせ

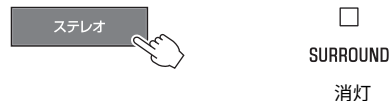
専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」をモバイル機器にインストールし、アプリを使って本機を MusicCast ネットワークに登録すると、サラウンドモード (TV 番組/映画/音楽/スポーツ/ゲーム) を選択することができます。本機の MusicCast ネットワーク登録について、詳しくは次をご覧ください。

- 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する (本機を MusicCast 機器として登録する)」(34 ページ)

2ch ステレオで再生する

ステレオボタンを押して、再生する音源やお好みに合わせてステレオ再生 (2ch ステレオ) に切り替えます。

SURROUND ランプは消灯します。



人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）

クリアボイスボタンを押して、クリアボイスを有効にすると、映画やドラマのセリフ、ニュースやスポーツ中継のアナウンスなど、人の声を聞きやすく再生します。

もう一度押すと、無効になります。



お知らせ

表示ボタンを押すと、クリアボイス機能の有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」（47 ページ）

迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）

バスエクステンションボタンを押して、バスエクステンションを有効にすると、不足しがちな低音を増強し、迫力のある音を楽しむことができます。

もう一度押すと、無効になります。



お知らせ

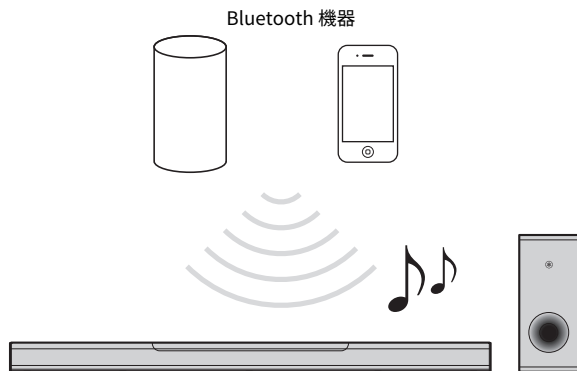
表示ボタンを押すと、バスエクステンション機能の有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」（47 ページ）

Bluetooth®機器を活用する

Bluetooth®機器の音楽を聴く

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤー、スマートスピーカーなどの Bluetooth に対応した機器の音声を、ワイヤレスで接続して本機で再生できます。



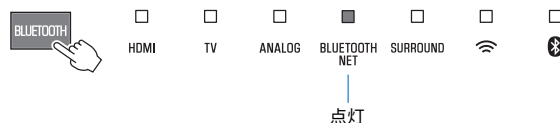
お知らせ

初期設定ではネットワークスタンバイ機能が有効に設定されています。本機の電源がオフの状態でも Bluetooth 機器側から本機に Bluetooth 接続すると、本機の電源もオンになり、すぐに Bluetooth 機器の音声を再生できる状態になります。詳しくは、次をご覧ください。

- 「ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する」 (61 ページ)

1 BLUETOOTH ボタンを押し、本機の入力を Bluetooth に切り替える。

BLUETOOTH/NET ランプが点灯します。



お知らせ

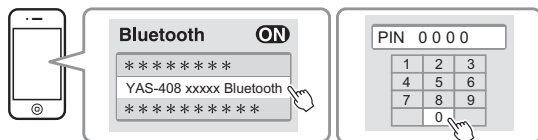
他の Bluetooth 機器を接続したことがある場合、BLUETOOTH ボタンを押すと最後に接続した機器と接続されます。

2 Bluetooth 機器側の Bluetooth 機能をオンにする。

Bluetooth 機器側で、接続可能な Bluetooth 機器のリストが表示されます。

3 リストから本機を選ぶ。

本機を MusicCast 機器として登録した場合は、接続可能なデバイスのリストにルーム名が表示されます。それ以外の場合は、「YAS-408 XXXXX Bluetooth」と表示されます。パスキー (PIN) の入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。



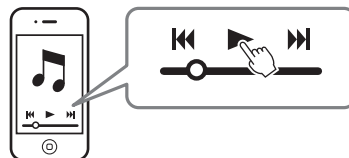
接続が完了すると、Bluetooth 機器側には接続完了メッセージが表示されます。本機の  ランプは青色に点灯します。



点灯 (青色)

4 Bluetooth 機器側で曲を再生する。

本機から音声が出ます。



お知らせ

- Bluetooth 接続中に次のいずれかの操作を行うと、Bluetooth 接続が切断されます。
 - Bluetooth 機器で Bluetooth 機能をオフにする。
 - 本機のリモコンの BLUETOOTH ボタンを 3 秒以上押す。
 - 本機で Bluetooth 以外の入力を選択する。
 - 本機の電源をオフにする。
- 本機の入力が Bluetooth の状態で Bluetooth 接続が切断されると、本機の  ランプが消灯し、接続待ちの状態になります。
- 必要に応じて、Bluetooth 機器側の音量を調整してください。
- Bluetooth 機器は、本機から 10m の範囲内で操作してください。
- Bluetooth 機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

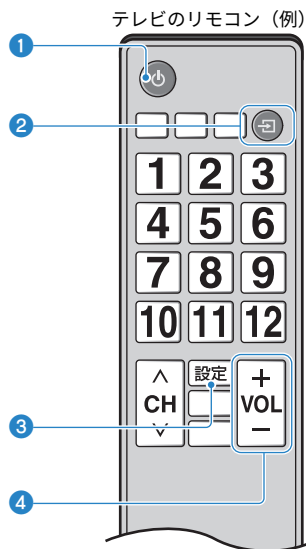
再生時に便利な機能

テレビのリモコンで本機を操作する (HDMI コントロール機能)

HDMI コントロール機能（リンク機能）は、テレビと本機を連動させ、テレビのリモコンで本機を操作する機能です。

HDMI ケーブルで本機とテレビを接続すると、テレビのリモコンで以下のように操作できます。

テレビのリモコン操作による連動機能



① 電源のオン/オフ

テレビと本機の電源が連動します。

② 入力切替え

テレビの入力切替えに連動して本機の入力も切り替わります。たとえば、テレビのリモコンでテレビ番組視聴を選択すると、本機の音声入力はテレビに切り替わります。

本機の HDMI IN 端子に BD/DVD レコーダーを接続している場合、テレビのリモコンで BD/DVD レコーダーを選択すると、本機の音声入力は HDMI（BD/DVD レコーダー）に切り替わります。

③ 音声を出力する機器の切替え

テレビからの音声出力と本機からの音声出力を切り替えます。

④ 音量の調整

テレビの音声出力が本機に設定されている場合は、本機の音量を調整できます。

お知らせ

- テレビのリモコンで本機を操作できない場合は、テレビと本機の HDMI コントロール機能を設定してください。詳しくは次をご覧ください。
-「HDMI コントロール機能を設定する」(56 ページ)
- 本機の電源がオフになっていても、入力の切替えができます (HDMI 信号パルス入)。
- テレビ画面の音量表示と、本機の音量表示は一致しない場合があります。

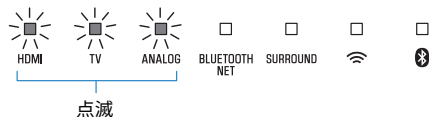
二ヶ国語放送の音声を切り替える

D 音声多重ボタンを繰り返し押し、BS/地上デジタル放送のモノラル音声多重信号入力時に、再生する音声を選択します。

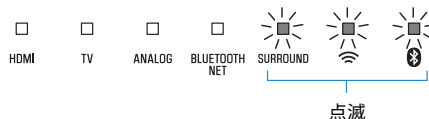


主音声、副音声、主音声＋副音声（主音声と副音声の両方）を切り替えます。ボタン操作時に点滅するランプの位置で、選択中の音声を確認できます。

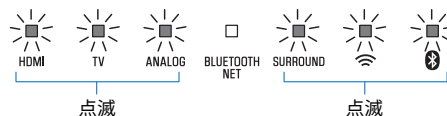
・ 主音声



・ 副音声



・ 主音声＋副音声



お知らせ

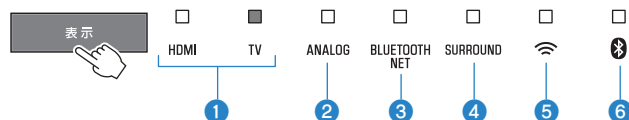
副音声が入力されていない場合やステレオ音声多重信号の場合は、音声は切り替わりません。

本機の設定や音声信号の情報を表示する

再生中の音声信号の種類やバスエクステンション機能など、本機の設定を表示できます。

1 リモコンの表示キーを押す。

表示キーを押してから3秒間、音声情報を本機上面のランプで以下のように表示します。



① 音声信号の種類を表示します。

HDMI 点灯（白）：Dolby Digital

HDMI 点灯（赤）：DTS

TV 点灯（白）：AAC

HDMI、TV 消灯：PCM/アナログ入力/入力なし

② ドルビープロロジック II の有効/無効を表示します。ドルビープロロジック II は、2ch ステレオ信号をサラウンドで再生しているとき、自動的に有効になります。

点灯：有効

消灯：無効

③ バスエクステンション機能の設定を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

④ クリアボイス機能の設定を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

⑤ ネットワークスタンバイ機能の設定を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

⑥ Bluetooth 機能の有効/無効を表示します。

点灯（青）：有効

消灯：無効

お気に入りのコンテンツを登録する

ネットワーク経由の音声（インターネットラジオ局やサーバーの音楽ファイルなど）、お気に入りボタンに登録します。

1 登録したいラジオ局などを再生する。

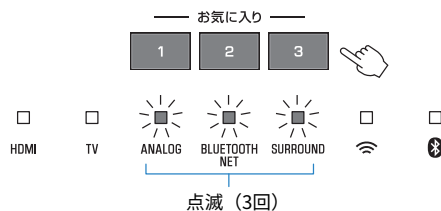
「メディアサーバー（パソコン/NAS）の曲を再生する」（50 ページ）

「インターネットラジオ局を選ぶ」（51 ページ）

「radiko.jp でラジオを聴く」（53 ページ）

「Deezer で高音質の音楽を聴く」（53 ページ）

2 お気に入り 1、2、または 3 ボタンを 3 秒以上 押す。



■ お気に入りのコンテンツを呼び出す

1 ラジオ局などを登録したお気に入り 1、2、または 3 ボタンを押す。

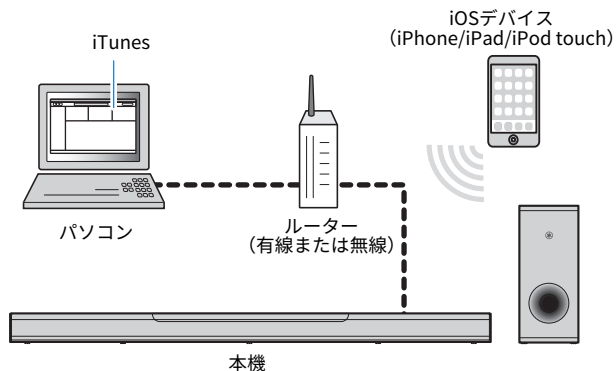
お知らせ

リモコンのお気に入り (1~3) ボタンと MusicCast CONTROLLER アプリの「お気に入り」(1~3) のどちらで登録しても、もう一方に同じ内容が登録されます。

AirPlay で音楽を聴く

AirPlay で iTunes/iOS デバイスの音楽を再生する

AirPlay 機能を使って、iTunes や iOS デバイス（iPhone など）の音楽ファイルを本機で再生します。

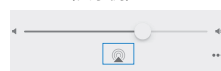


1 iTunes を起動する、または iOS デバイスの音楽再生画面を表示する。

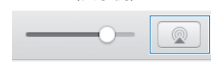
2 iTunes/iOS デバイスで AirPlay アイコンをクリック（タップ）し、音声の出力先として本機（ネットワーク名）を選ぶ。

iOS デバイスの場合、AirPlay アイコンはミュージックアプリの再生画面またはコントロールセンターに表示されます。

iOS 12（表示例）



iTunes（表示例）



3 iTunes/iOS デバイス进行操作して曲を再生する。

本機の入力が自動的に「AirPlay」に切り替わり、再生が始まります。

再生中は iTunes/iOS デバイスからも本機の音量を操作できます。



注意

- iTunes/iOS デバイスで音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐに iTunes/iOS デバイスの再生を停止してください。

お知らせ

初期設定ではネットワークスタンバイ機能が有効に設定されています。本機の電源がオフの状態でも iTunes/iOS デバイスで再生を始めると本機の電源はオンになり、すぐに iTunes/iOS デバイスの音声を再生できる状態になります。詳しくは次をご覧ください。

- 「ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する」（61 ページ）

メディアサーバー（パソコン/NAS）の曲を再生する

メディアサーバー（パソコン/NAS）の曲を再生する

メディアサーバーに保存されている音楽ファイルを本機で再生します。

お知らせ

- 事前に、各機器で本機とのメディア共有を有効にする必要があります。設定については、各機器またはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 再生にはモバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使用します。また、本機が MusicCast ネットワークに登録されている必要があります。詳しくは次をご覧ください。
 - 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）
- メディアサーバーの曲を再生するには、本機とメディアサーバー（パソコン/NAS）が同じルーターに接続されている必要があります。
- 無線ネットワーク接続時に音声途切れる場合は、有線でネットワークに接続してください。
 - 「有線ネットワークに接続する」（33 ページ）
- 再生できるファイルフォーマットについては、次をご覧ください。
 - 「対応しているファイルフォーマット」（84 ページ）

1 MusicCast CONTROLLER アプリで本機のルーム（Room1 など）を選ぶ。

2 （Server）をタップする。

3 画面の案内に従って、曲を選ぶ。

お知らせ

MusicCast CONTROLLER アプリの「お気に入り」（1～3）に曲を登録すると、リモコンのお気に入り 1-3 ボタンを使って登録した曲を呼び出せます。詳しくは次をご覧ください。

- 「お気に入りのコンテンツを登録する」（47 ページ）

インターネットラジオを聴く

インターネットラジオ局を選ぶ

インターネットラジオ局を選択して受信し、再生を始めます。

お知らせ

- 選局にはモバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使用します。また、本機が MusicCast ネットワークに登録されている必要があります。詳しくは次をご覧ください。
–「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）
- インターネットラジオ局や時間帯によっては、受信できないことがあります。
- この機能は、airable.Radio ラジオ局データベースサービスを利用します。
- 本サービスは事前の通知なく中止される場合があります。

1 MusicCast CONTROLLER アプリで本機のルーム（Room1 など）を選ぶ。

2 （Net Radio）をタップする。

3 一覧からラジオ局を選ぶ。

お知らせ

MusicCast CONTROLLER アプリの「お気に入り」（1～3）にラジオ局を登録すると、リモコンのお気に入り 1-3 ボタンを使って登録したラジオ局を呼び出せます。詳しくは次をご覧ください。

- 「お気に入りのコンテンツを登録する」（47 ページ）

インターネットラジオ局をブックマークに登録する

現在再生中のインターネットラジオ局をブックマークに登録します。

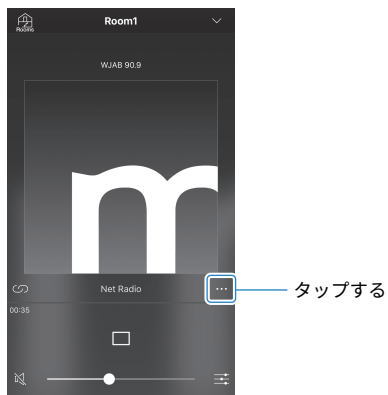
お知らせ

選局にはモバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使用します。また、本機が MusicCast ネットワークに登録されている必要があります。詳しくは次をご覧ください。

- 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）

1 登録したいインターネットラジオ局を再生する。

2 再生画面の…をタップし、「ブックマークに追加」をタップする。



■ 登録したインターネットラジオ局を呼び出す

1 「ラジオ」をタップし、「お気に入り」をタップしてインターネットラジオ局を選ぶ。

音楽配信サービスを楽しむ

radiko.jp でラジオを聴く

radiko.jp で地上波ラジオ放送を受信します。

お知らせ

radiko.jp の選局には、モバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使用します。また、本機が MusicCast ネットワークに登録されている必要があります。詳しくは次をご覧ください。

- 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）

1 MusicCast CONTROLLER アプリで本機のルーム（Room1 など）を選ぶ。

2 radiko.jp（radiko.jp）をタップする。

3 地域を選んで、ラジオ局を選ぶ。

お知らせ

MusicCast CONTROLLER アプリの「お気に入り」（1〜3）にラジオ局を登録すると、リモコンのお気に入り（1-3）ボタンを使って登録した曲を呼び出せます。詳しくは次をご覧ください。

- 「お気に入りのコンテンツを登録する」（47 ページ）

■ radiko.jp について

radiko.jp は、地上波ラジオ放送を CM も含めて同時にインターネットで配信する「IP（Internet Protocol）サイマルラジオ」サービスです。放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jp のウェブサイトをご覧ください。

radiko.jp プレミアム（有料）に登録すると、全国のラジオ局を受信できます。radiko.jp プレミアムを利用するには、radiko.jp のウェブサイトでユーザー登録を行い、MusicCast CONTROLLER アプリでログイン名とパスワードを入力してください。

Deezer で高音質の音楽を聴く

ストリーミングサービス「Deezer」で音楽を再生します。

お知らせ

再生には、モバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使用します。また、本機が MusicCast ネットワークに登録されている必要があります。詳しくは次をご覧ください。

- 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）

1 モバイル機器の MusicCast CONTROLLER を操作して、Deezer サービスのアカウントにサインインする。

2 MusicCast CONTROLLER で Deezer のコンテンツを選ぶ。 コンテンツの再生が始まります。

お知らせ

MusicCast CONTROLLER アプリの「お気に入り」（1〜3）に曲を登録すると、リモコンのお気に入り（1-3）ボタンを使って登録した曲を呼び出せます。詳しくは次をご覧ください。

- 「お気に入りのコンテンツを登録する」（47 ページ）

■ Deezer について

Deezer は数千万曲の音楽をロスレス形式の高音質で楽しめるストリーミング サービスです。Deezer サービスを利用するには Deezer アカウントが必要です。

アカウントをお持ちでない場合は、あらかじめ Deezer のウェブサイトでアカウントをご登録ください。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.deezer.com>

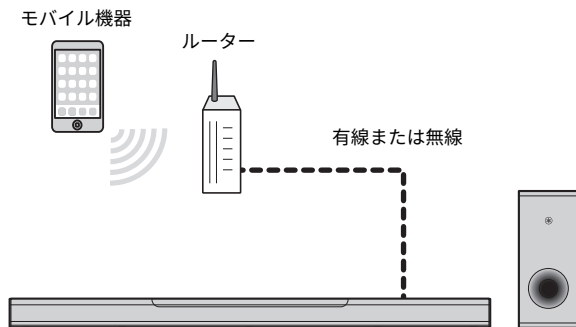
Spotify Connect で高音質の音楽を聴く

スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotify で音楽を楽しめます。詳しくは spotify.com/connect をご覧ください。

モバイル機器の音楽を聴く

モバイル機器で曲を再生する

モバイル機器の音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。
モバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリ
を使って再生します。



お知らせ

再生にはモバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使用します。また、本機が MusicCast ネットワークに登録されている必要があります。詳しくは次をご覧ください。

- 「MusicCast CONTROLLER アプリを使って接続する（本機を MusicCast 機器として登録する）」（34 ページ）

1 MusicCast CONTROLLER アプリで本機のルーム
（Room1 など）を選ぶ。

2 （モバイル機器のデバイス名）をタップする。

3 「プレイリスト」や「アーティスト」などの分類から、曲を選ぶ。

設定する

設定する

センターユニットのランプの明るさを調節する（ディマー）

センターユニット上面のランプの明るさを切り替えます。

ディマーボタンを押すたびに、ランプの明るさが次のように切り替わります。

暗い（初期設定）→ 消灯 → 明るい → 暗い → …



操作直後は明るくなり、数秒間経過すると設定した明るさになります。

HDMI コントロール機能を設定する

HDMI コントロール対応のテレビと本機を連動させ、テレビのリモコンで本機を操作する場合に使用する HDMI コントロール機能（リンク機能）の有効/無効を切り替えます。

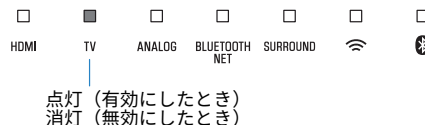
初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 HDMI ボタンを 3 秒以上押す。



HDMI コントロール機能の有効/無効が切り替わり、本機の電源がオンになります。ランプの状態が HDMI コントロール機能の有効/無効を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



お知らせ

- オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビを使用する場合や、HDMI 信号パススルー機能を使用する場合は、HDMI コントロール機能を有効にしてください。詳しくは次をご覧ください。
 - 「オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する」（29 ページ）
 - 「テレビのリモコンで本機を操作する（HDMI コントロール機能）」（45 ページ）
- テレビのリモコンで本機を操作できない場合には、本機の HDMI コントロールが有効に設定されていること、テレビ側の設定で HDMI コントロール機能が有効になっていることをご確認ください。詳しくは次をご覧ください。
 - 「テレビのリモコンで本機を操作できない」（71 ページ）
- HDMI コントロール機能を無効にすると、本機の待機時消費電力を低減できます。

HDMI 音声出力を設定する

HDMI コントロール機能が無効の場合に、本機の HDMI IN 端子から入力した音声出力する機器を設定します。

初期設定では、本機から出力します。

本機（初期設定）	HDMI の音声を本機から出力する。
テレビ	HDMI の音声をテレビから出力する。

1 本機の電源をオフにする。

2 サラウンドボタンを 3 秒以上押す。



HDMI 音声出力の設定が切り替わり、本機の電源がオンになります。

ランプの状態 で HDMI 音声出力の設定を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



お知らせ

- HDMI 入力端子の音声をテレビで再生する場合、本機では音量を調節できません。テレビで音量を調節してください。
- HDMI コントロール機能の設定（有効/無効）について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「HDMI コントロール機能を設定する」（56 ページ）
- HDMI コントロール機能を有効にしたままで音声を出力する機器を設定するには、テレビ側で音声を出力する機器を選んでください。
- 本機の HDMI IN 端子に入力した HDMI 映像信号は、常に本機の HDMI OUT（ARC）端子へ出力されます。

自動スタンバイ機能を設定する

自動スタンバイ機能により、電源の切り忘れを防止できます。自動スタンバイ機能を有効にすると、次のいずれかの場合に自動的に電源がオフになります。

初期設定は「無効」です。

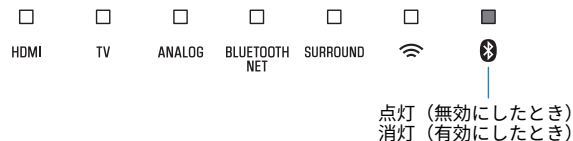
- 操作がない状態で8時間経過
- BLUETOOTH または HDMI が入力ソースとして選択されている場合に、音声入力および操作がない状態で20分経過

1 本機の電源をオフにする。

2 本機上面の を押したまま /CONNECT を3秒以上押す。



自動スタンバイ機能の有効/無効が切り替わり、本機の電源がオンになります。ランプの状態で自動スタンバイ機能の有効/無効を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



タッチパネルの有効/無効を設定する（チャイルドロック機能）

タッチパネルの操作を無効にすると、お子様の接触などによる本体の誤操作を防止できます。無効に設定した場合は、リモコンや専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」のみで操作できます。

初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 表示ボタンを3秒以上押す。



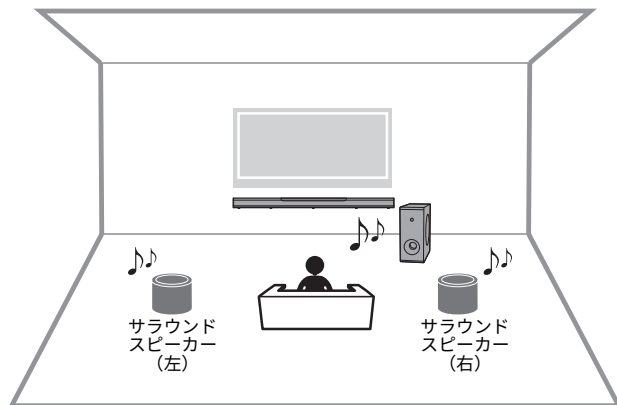
タッチパネルの有効/無効が切り替わり、本機の電源がオンになります。ランプの状態でタッチパネルの有効/無効を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



点灯（タッチパネルを有効にしたとき）
消灯（タッチパネルを無効にしたとき）

ワイヤレスサラウンドスピーカーを使う (MusicCast サラウンド機能)

ヤマハ MusicCast サラウンド (子機) 機能に対応した機器 (MusicCast 20 など) を本機のワイヤレスサラウンドスピーカーとして使用します。



- 1 本機と MusicCast サラウンド (子機) 対応機器を、MusicCast CONTROLLER アプリの同じロケーションに登録する。
- 2 MusicCast サラウンド (子機) 対応機器を、本機と同じ部屋に設置する。
- 3 MusicCast CONTROLLER アプリを開く。

4 ⚙️ (設定) をタップする。



5 「MusicCast サラウンド/ステレオ」をタップする。



6 本機を設置した部屋を選ぶ。



7 アプリの画面に従って、設定を完了する。

本機のサラウンドスピーカーとして接続する機器、台数などを設定します。



お知らせ

- この機能は、今後のファームウェアアップデートで提供されます。詳しくは、本製品のウェブサイトをご覧ください。
- お使いの MusicCast サラウンド（子機）対応機器により、機能、設置方法が異なります。詳細は、MusicCast サラウンド対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 設定後、サラウンドスピーカーのレベル調整やテストトーンによるバランスのチェックが可能です。詳しくは、次をご覧ください。
 - 「スピーカーのレベルを調整する」(66 ページ)

ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する

ネットワークスタンバイ機能を有効にすると、モバイル機器や Bluetooth 機器の操作で本機の電源を以下のようにオン/オフできます。

初期設定は「有効」です。

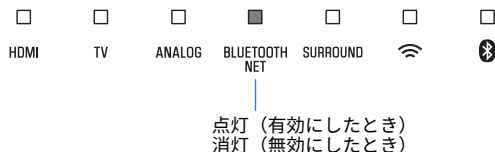
- 本機の電源がオフのとき、以下の再生操作をすると本機の電源がオンになります。
 - AirPlay で再生する
 - ネットワーク接続ストレージ (NAS) に保存した音楽ファイルを再生する
- モバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリで電源を操作できます。
- 本機の電源がオフのとき、Bluetooth 機器側で本機に接続すると、本機の電源がオンになり、入力が Bluetooth に切り替わります。

1 本機の電源をオフにする。

2 本機上面の を押したまま /CONNECT を 3 秒以上押す。



ネットワークスタンバイ機能の有効/無効が切り替わり、本機の電源がオンになります。ランプの状態でネットワークスタンバイ機能の有効/無効を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



お知らせ

- ネットワークスタンバイ機能を有効にすると、無効のときに比べて電源オフ状態の電力消費量が多くなります。
- 表示ボタンを押すと、ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。
 - 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」(47 ページ)

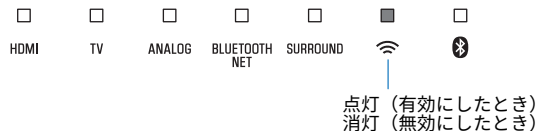
無線（Wi-Fi）接続の有効/無効を設定する

無線（Wi-Fi）接続の有効/無効を切り替えます。
初期設定は「有効」です。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 NET ボタンを 3 秒以上押す。



無線（Wi-Fi）接続の有効/無効が切り替わり、本機の電源がオンになります。ランプの状態で無線（Wi-Fi）接続の有効/無効を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



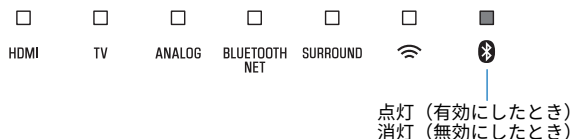
Bluetooth 機能の有効/無効を設定する

Bluetooth 機能の有効/無効を切り替えます。
初期設定は「有効」です。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 BLUETOOTH ボタンを 3 秒以上押す。



Bluetooth 機能の有効/無効が切り替わり、本機の電源がオンになります。ランプの状態 Bluetooth 機能の有効/無効を数秒間表示した後、すべてのランプが点灯します。



お知らせ

表示ボタンを押すと、Bluetooth 機能の有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」(47 ページ)

本機のファームウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されることがあります。モバイル機器にインストールした MusicCast CONTROLLER アプリを使って、ファームウェアを更新できます。

注意

- ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。そのような場合は、時間をおいてお試しください。
- ファームウェアに関する詳細は弊社ウェブサイトをご覧ください。

新しいファームウェアが提供されると、MusicCast CONTROLLER アプリの画面に「新しいファームウェアがあります。今すぐ更新しますか？」というメッセージが表示されます。

1 「はい」をタップする。

ファームウェアの更新が始まります。更新中は、アプリの画面に進行状況を示すバーが表示されません。

お知らせ

「あとで」を選んだ場合は、アプリのルーム設定画面で⚙（設定）をタップし、「新しいファームウェアが利用可能です。」を選びます。画面の案内に従ってファームウェアを更新してください。

更新が成功すると、アプリの画面に「ファームウェアの更新が完了しました。」とアプリの画面に表示され、本機のすべてのランプが点滅します。



2 本機上面の ㊤/CONNECT をタッチする。



これでファームウェアの更新は完了です。

お知らせ

ファームウェアの更新に失敗したときは、アプリの画面に「ファームウェア更新に失敗しました。」と表示され、本機の HDMI ランプが赤で点滅します。㊤ ボタンを押して本機の電源を入れ直し、更新をやり直してください。それでも更新できない場合は、ネットワーク接続を確認してください。

センターユニットとサブウーファーを手動でペアリングする

通常、センターユニットとサブウーファーは自動でペアリングされますが、一時的な通信障害などにより自動でペアリングされなかった場合は、手動でペアリングを行ってください。

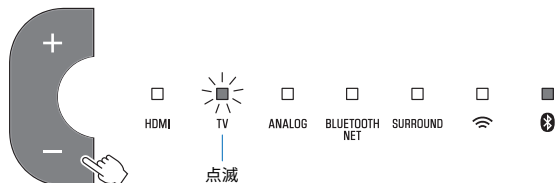
お知らせ

ペアリングとは、センターユニットとサブウーファーが接続する相手を決める動作です。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 サブウーファー（－）ボタンを 3 秒以上押す。

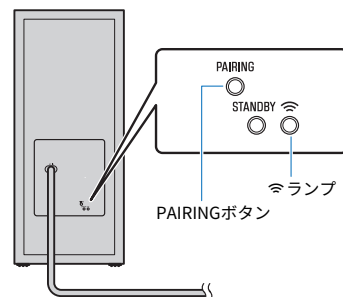
センターユニットの TV ランプが点滅します。

サブウーファー



- 3 30 秒以内にサブウーファー背面の PAIRING ボタンを 3 秒以上押す。

ペアリングが完了し、センターユニットとサブウーファーが接続されると、サブウーファー背面の📶ランプが点灯し、センターユニットとサブウーファーの電源がオンになります。



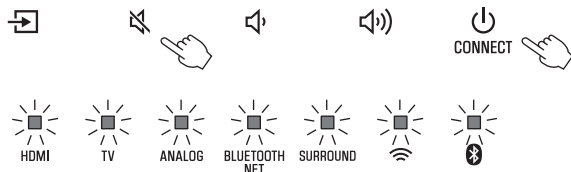
上記の操作を行ってもサブウーファーの📶ランプが点灯しない場合は、「サブウーファーから音が出ない」(72 ページ) をご覧ください。

初期設定に戻す

本機の設定をすべて初期状態に戻します。

1 本機の電源をオフにする。

2 すべてのランプが点滅するまで、本機上面の M を押したまま P /CONNECT を押す。



点滅（初期化完了）

WAC 機能を使用して無線ネットワークに接続する

ご購入後はじめて本機の電源をオンにすると、センターユニットの M ランプがゆっくり点滅します。 M ランプの点滅中に、お使いの iOS デバイス（iPhone など）のネットワーク設定を本機に適用して無線ネットワークに接続できます（WAC 機能）。

お知らせ

本機の NETWORK 端子とルーターをケーブルで接続している場合（有線ネットワーク接続）、 M ランプは点滅しません。

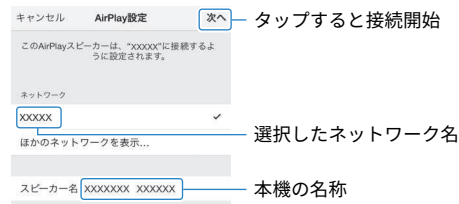
1 iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面を開き、「新しい AIRPLAY スピーカーを設定...」から本機を選ぶ。

画面表示例



2 以下の画面が表示されたら、本機を接続するネットワーク（アクセスポイント）を選ぶ。

画面表示例



お知らせ

MusicCast CONTROLLER アプリを使って本機をネットワークに接続すると、本機のネットワーク設定は MusicCast CONTROLLER の設定に変更されます。

スピーカーのレベルを調整する

MusicCast サラウンド機能を使って本機と接続したサラウンドスピーカーのレベルを調整します。

MusicCast サラウンド機能を使用しているときのみ設定可能です。

- 1 MusicCast CONTROLLER アプリを開く。
- 2 ルーム選択画面で⚙️（設定）をタップする。



- 3 「MusicCast サラウンド/ステレオ」をタップする。



- 4 本機を設置した部屋を選ぶ。



5 「スピーカー設定」を選ぶ。



6 画面に従って設定する。



以下の設定が可能です。

- スピーカーの距離
- スピーカーの音量
- サウンドチェック（テストトーン）

ダイナミックレンジ圧縮を設定する

ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定します。

初期設定は「圧縮しない」です。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 圧縮レベルに応じて、以下のようにリモコンを操作する。

圧縮レベル	機能	操作（ボタンを 3 秒以内に順に押す）
圧縮する（大）	最大のダイナミックレンジ圧縮を適用します。	[STEREO] → [VOLUME +] → [⏻]
圧縮する（標準）	一般的な部屋での視聴に合ったダイナミックレンジ圧縮を適用します。	[STEREO] → [VOLUME -] → [⏻]
圧縮しない	ダイナミックレンジ圧縮を適用しません。	[STEREO] → [🔊] → [⏻]

以下のようにランプが数秒間点灯し、ダイナミックレンジの圧縮レベルが変更されます。

圧縮レベル	ランプ						
圧縮する（大）	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	HDMI	TV	ANALOG	BLUETOOTH NET	SURROUND	📶	🔊
点灯（赤）							
圧縮する（標準）	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	HDMI	TV	ANALOG	BLUETOOTH NET	SURROUND	📶	🔊
点灯（白）							
圧縮しない	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐
	HDMI	TV	ANALOG	BLUETOOTH NET	SURROUND	📶	🔊
点灯（白）							

付録

困ったときは（概要）

最初にご確認ください

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、最初に次の点を確認してください。

- 本機（センターユニット、サブウーファー）、テレビ、AV 機器（BD レコーダーなど）の電源プラグが AC コンセントにしっかりと接続されている。
- 本機（センターユニット、サブウーファー）、テレビ、AV 機器（BD レコーダーなど）の電源が入っている。
- 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

電源や配線に問題がない場合は、次を確認してください。

- 「困ったときは（電源/動作全般）」（69 ページ）
- 「困ったときは（音声）」（72 ページ）
- 「困ったときは（Bluetooth®）」（75 ページ）

「困ったときは」に沿って対処しても正常に動作しない場合や、それ以外の異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店、または巻末の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

困ったときは（電源/動作全般）

電源が突然切れる

● 自動スタンバイ機能により電源が切れた。

自動スタンバイ機能が有効に設定されていて、次のいずれかの条件の場合、自動的に電源がオフになります。

- 操作がない状態で 8 時間経過
 - BLUETOOTH または HDMI が入力ソースとして選択され、音声入力および操作がない状態で 20 分経過
- もう一度電源を入れてください。自動的に電源が切れないようにする場合は、自動スタンバイ機能を無効に設定します。詳しくは次をご覧ください。
- 「自動スタンバイ機能を設定する」（58 ページ）

● 保護回路が作動した（本機上面の HDMI ランプが白色または赤色で点滅します）。

接続が正しいことを確認したあとで、もう一度電源を入れてください。たびたび電源が切れる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源が入らない

● 保護回路が 3 回続けて作動した（この状態で電源を入れようとすると、本機上面の HDMI ランプが赤色で点滅します）。

製品保護のため、電源が入らなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

本体のタッチパネルで操作ができない

● タッチパネルの操作が無効になっている。

タッチパネルを有効に設定してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「タッチパネルの有効/無効を設定する（チャイルドロック機能）」（58 ページ）

電源がオンのときにランプがすべて消灯している（電源オフのように見える）

● ディマーボタンの設定で消灯が選択されている。

ディマーボタンを操作してお好みの明るさを選択してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「センターユニットのランプの明るさを調節する（ディマー）」（56 ページ）

本機が正常に動作しない

● 外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。

- 電源プラグをコンセントから抜き、接続し直してください。

操作をしていないのに本機の電源がオンになる

● 近くで、別の Bluetooth 機器が使用されている。

Bluetooth 接続を切断してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」（43 ページ）

テレビの 3D メガネが機能しない

● 本機がテレビの 3D メガネ用発信部を隠している。

テレビの 3D メガネ発信部の位置を確認し、発信部が隠れないように本機を移動してください。

テレビ画面に HDMI 映像が表示されない

● HDMI ケーブルがしっかり接続されていない。

本機とテレビの HDMI 接続を確認してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する」（29 ページ）
- 「オーディオリターンチャンネル（ARC）非対応テレビを接続する」（30 ページ）

本機の電源をオフにしているとき、AV 機器の映像や音声をテレビで視聴できない

● HDMI コントロール機能が無効になっている。

HDMI コントロール機能を有効にしてください。詳しくは次をご覧ください。

– 「HDMI コントロール機能を設定する」(56 ページ)

リモコンで本機を操作できない

● 操作範囲から外れている。

リモコンの操作範囲内で操作してください。詳しくは次をご覧ください。

– 「リモコンの操作範囲」(20 ページ)

● 乾電池が消耗している。

新しい乾電池に交換してください。

– 「リモコンの電池を交換する」(21 ページ)

● 本機のリモコン受光部に日光や強い照明が当たっている。

照明、または本機の向きを変えてください。

テレビのリモコンでテレビを操作できない

● テレビのリモコン受光部が本機に隠れている。

テレビのリモコン受光部が隠れないように、本機の設置位置を調節してください。

テレビのリモコンで本機を操作できない

● HDMI コントロール機能が正しく設定されていない。

正しく設定されているか次を確認してください。

– 本機の HDMI コントロールを有効に設定してください。

– テレビ側の設定で、HDMI コントロール機能を有効に設定してください。

– テレビの音声出力先の設定を、テレビ以外に設定してください。

それでもテレビのリモコンで操作できない場合は、次を実行してください。

– 本機およびテレビの電源を一度オフにしてからオンにしてください。

– 本機および HDMI 接続している機器の電源プラグをコンセントからはずし、30 秒ほど経ってから、接続し直してください。

● テレビと BD/DVD レコーダーのメーカーが異なっている。

テレビと BD/DVD レコーダーは同一メーカーの製品で統一することをおすすめします。

● テレビが本機の操作に対応していない。

HDMI コントロール機能に対応しているテレビでも、一部の機能が操作できないことがあります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは（音声）

音が出ない

● **再生したい入力選ばれていない。**

正しい入力を選んでください。詳しくは次をご覧ください。

－「再生の基本手順」（38 ページ）

● **消音されている。**

消音を解除してください。詳しくは次をご覧ください。

－「再生の基本手順」（38 ページ）

● **音量が小さい。**

音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

－「再生の基本手順」（38 ページ）

● **本機の電源コードがしっかり接続されていない。**

本機の電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。詳しくは次をご覧ください。

－「電源コードを接続する」（32 ページ）

● **入力端子同士を接続している。**

本機の入力端子と AV 機器の出力端子を接続してください。

● **本機が再生できない信号が入力されている。**

AV 機器側のデジタル音声出力設定を PCM、MPEG-2 AAC、DTS または Dolby Digital に変更してください。

● **本機の HDMI IN 端子に入力した音声をテレビで再生するように設定している。**

本機で再生するように設定してください。詳しくは次をご覧ください。

－「HDMI 音声出力を設定する」（57 ページ）

● **HDMI コントロール機能が無効に設定されている。**

ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビと本機を HDMI ケーブルのみで接続する場合は、HDMI コントロール機能を有効に設定してください。

HDMI コントロール機能を無効にしたまま本機で音声を再生するには、本機の TV 端子（光デジタル）とテレビの音声出力端子を光デジタルケーブルで接続してください。

詳しくは次をご覧ください。

－「HDMI コントロール機能を設定する」（56 ページ）

－「オーディオリターンチャンネル（ARC）非対応テレビを接続する」（30 ページ）

● **HDMI コントロール機能を使用しているテレビの音声出力先が、テレビの内蔵スピーカーになっている。**

テレビの HDMI に関する設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。

サブウーファーから音が出ない

● **サブウーファーの電源プラグがコンセントに接続されていない。**

サブウーファーの電源プラグをコンセントに接続してください。詳しくは次をご覧ください。

－「電源コードを接続する」（32 ページ）

● **サブウーファー内の保護回路が作動した。**

製品保護のため、サブウーファーの電源が入らなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

● **再生している音声にサブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれていない。**

サブウーファーチャンネルの信号が含まれているソフトを再生して、サブウーファーから音が出ることを確認してください。

● **サブウーファーの音量が小さい。**

サブウーファーの音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

–「再生の基本手順」(38 ページ)

● **サブウーファーの前面が遮られている。**

サブウーファーの前面やポートの周囲をあけてください。

● **[サブウーファーのⒻランプが点滅している場合]**

無線の通信状態が悪く、センターユニットとサブウーファーが接続できない。

- サブウーファーをセンターユニットに近づけてください。近づけても改善しない場合は、サブウーファーを動かして、通信状態のよい場所（Ⓕランプが点灯する場所）に設置してください。
- センターユニットとサブウーファーの間が金属製の家具などで遮られている場合はレイアウト変更を行うか、サブウーファーの位置を変えてください。
- 近くに電子レンジや無線 LAN 機器など、電磁波を発するものがある場合は、それらのものから離れたところに設置してください。

● **[サブウーファーのⒻランプが点滅している場合]**

センターユニットとサブウーファーがペアリングされていない。

センターユニットとサブウーファーを手動でペアリングしてください。詳しくは次をご覧ください。

–「センターユニットとサブウーファーを手動でペアリングする」(64 ページ)

ペアリングが成功しない場合は、故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源を入れ直すと音量が下がる

● **音量自動調節機能により音量が下がった。**

突然大音量が出力されるのを防ぐため、音量が大きい状態で電源を切った場合、次回電源を入れたときに音量が自動的に調節されます。必要に応じて、音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

–「再生の基本手順」(38 ページ)

サラウンド感が得られない

● **ステレオ再生にしている。**

サラウンド再生または 3D サラウンド再生に切り替えてください。詳しくは次をご覧ください。

–「3D サラウンドで再生する」(41 ページ)

–「サラウンドで再生する」(41 ページ)

● **音量が小さい。**

音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

–「再生の基本手順」(38 ページ)

- **テレビ、または AV 機器が常に 2 チャンネル（PCM など）で出力するように設定されている。**

テレビ、または AV 機器の音声出力設定を AAC、Bitstream（ビットストリーム）などへ変更してください。

- **テレビのスピーカーからも音が出ている。**

テレビの音量を最小にしてください。詳しくは次をご覧ください。

–「再生の基本手順」（38 ページ）

- **視聴位置が本機に極端に近過ぎる。**

ある程度、離れた位置で視聴ください。

雑音が入る

- **デジタル機器や高周波機器が本機の近くに置かれている。**

本機と該当機器の距離を離してください。

困ったときは (Bluetooth®)

Bluetooth®機器と接続できない

- **本機の入力が Bluetooth 以外になっている。**
入力を Bluetooth にしてください。詳しくは次をご覧ください。
– 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」 (43 ページ)
- **本機と Bluetooth 機器の距離が離れすぎている。**
本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- **電磁波を発する機器 (電子レンジ、無線機器など) がそばにある。**
電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。
- **お使いの Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない。**
A2DP プロファイル対応の Bluetooth 機器をお使いください。
- **Bluetooth 機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。**
Bluetooth 機器の接続情報を削除してから、本機と Bluetooth 機器の接続操作を行ってください。
- **Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。**
パスキーが「0000」の機器をお使いください。
- **本機と別の Bluetooth 機器が接続している。**
Bluetooth 機器の接続を切断してから、新しい Bluetooth 機器を接続してください。

Bluetooth®接続時に音が出ない、または音が途切れる

- **Bluetooth 機器の音量が小さすぎる。**
Bluetooth 機器の音量を上げてください。
- **本機の入力が Bluetooth 以外になっている。**
入力を Bluetooth にしてください。詳しくは次をご覧ください。
– 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」 (43 ページ)
- **Bluetooth 機器を再生していない。**
Bluetooth 機器を再生してください。
- **Bluetooth 機器の音声出力先が本機になっていない。**
Bluetooth 機器を操作し、音声出力先として本機を選択してください。
- **Bluetooth 接続が切断された。**
再度 Bluetooth 接続を行ってください。
- **本機と Bluetooth 機器の距離が離れすぎている。**
Bluetooth 機器を本機の近くに移動してください。
- **電磁波を発する機器 (電子レンジ、無線機器など) がそばにある。**
電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

困ったときは（ネットワーク）

ネットワーク機能を使用できない

- **ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。**
ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。
- **IPv6 タイプのルーターと接続しようとしている。**
本機は IPv6 のネットワークには対応していません。IPv4 のネットワークに接続してください。

無線 LAN ルーター（アクセスポイント） 経由でインターネットに接続できない

- **無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。**
無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
- **本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の距離が離れすぎている。**
本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけてください。
- **本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。**
本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がない場所に設置してください。
- **無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が 14 チャンネルを使用する設定になっている。**
1～13 チャンネルのいずれかを使用するよう、無線 LAN ルーターの設定を変更してください。

無線ネットワークが見つからない

- **電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。**
それらの機器の電源を切るか、本機や無線 LAN ルーターから遠ざけてください。また、無線 LAN ルーターが 5GHz 周波数帯に対応している場合は、本機を 5GHz 周波数帯の無線ネットワークに接続してください。
- **無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。**
無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。

メディアサーバー（パソコン/NAS）が検出されない

- **メディアサーバーの共有設定が正しくない。**
本機がメディアサーバーのフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください。
- **セキュリティソフトなどの設定により、メディアサーバーへのアクセスが制限されている。**
メディアサーバーまたはルーターのセキュリティソフトの設定をご確認ください。
- **本機とメディアサーバーが同じネットワークに接続されていない。**
ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、本機とメディアサーバーを同じネットワークに接続してください。

メディアサーバー（パソコン/NAS）のファイルが表示（再生）されない

- 本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。

本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください。本機が対応している音楽ファイルについては、次をご覧ください。

–「対応しているデジタル音声信号フォーマット」
(83 ページ)

インターネットラジオを再生できない

- 選択したインターネットラジオ局のサービスが現在停止している。

ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。

- 選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。

時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音はでません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。

- ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。

ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できません。ポート番号はラジオ局により異なります。

AirPlay 使用時に、iOS デバイス (iPhone など) で本機が検出されない

- マルチ SSID 対応ルーターを使用している。

無線 LAN ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iOS デバイスを接続する際は、本機へのアクセスが可能な SSID をお使いください（プライマリ SSID への接続をお試しください）。

MusicCastCONTROLLER アプリで本機が検出されない

- 本機とモバイル機器が同じネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。

- マルチ SSID 対応ルーターを使用している。

無線 LAN ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。モバイル機器を接続する際は、本機へのアクセスが可能な SSID をお使いください（プライマリ SSID への接続をお試しください）。

- Wi-Fi が無効になっている。

Wi-Fi を有効に変更してください。詳しくは次をご覧ください。

–「無線 (Wi-Fi) 接続の有効/無効を設定する」(62 ページ)

ネットワーク経由でファームウェアを更新できない

- ネットワークの接続状態が悪い。

しばらく経ってから再度実行するか、USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください。

仕様

主な仕様 (YAS-CU408)

センターユニットの主な仕様です。

アンプ部

実用最大出力 (非同時駆動、JEITA)

- フロント L/R 50W×2ch

スピーカー部

フロント L/R

- 形式 密閉型 (非防磁)
- スピーカーユニット 4.6cm コーン ×4
- 再生周波数帯域 160Hz ~ 9kHz
- インピーダンス 4Ω (8Ω×2)

ツイーター

- スピーカーユニット 2.5cm ドーム ×2
- 再生周波数帯域 9kHz ~ 23kHz
- インピーダンス 4Ω

デコーダー部

- 対応音声信号 PCM (5.1ch まで)
- (HDMI/光デジタル) Dolby Digital (5.1ch まで)
- DTS Digital Surround (5.1ch まで)
- MPEG-2 AAC (5.1ch まで)

入力端子

- HDMI 1 (HDMI IN)
- 光デジタル 1 (TV)
- アナログ (3.5mm ステレオミニ) 1 (ANALOG)

出力端子

- HDMI 1 (HDMI OUT (ARC))

その他の端子

- USB 1 (UPDATE ONLY)
- LAN 1 (NETWORK)

Bluetooth

- 受信動作 他機器からの受信機能
- Bluetooth バージョン Ver 4.2

対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	受信：SBC、AAC
Bluetooth クラス	Bluetooth Class 2
見通し通信距離	約 10m
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式（受信時）

ネットワーク

Ethernet 規格	100BASE-TX/10BASE-T
対応コーデック	WAV（PCM フォーマットのみ）/AIFF/FLAC：192 kHz まで ALAC：96 kHz まで MP3/WMA/MPEG-4 AAC：48 kHz まで
PC クライアント機能	
AirPlay 2 対応	
インターネットラジオ	
Spotify	
Deezer	
radiko.jp	

無線ネットワーク

- 無線 LAN 規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac*
* 20MHz チャンネル帯域幅のみ
- 無線周波数帯域：2.4GHz/5GHz
- 対応セキュリティ
 - WEP
 - WPA2-PSK（AES）
 - Mixed Mode

総合

電源電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	30W
待機消費電力	
HDMI コントロール無効、ネットワークスタンバイ無効	0.4W
HDMI コントロール無効、ネットワークスタンバイ有効（有線/Wi-Fi/Bluetooth）	1.6/1.8/1.7W
HDMI コントロール有効、ネットワークスタンバイ無効	0.7W
HDMI コントロール有効、ネットワークスタンバイ有効	2.2W

寸法（幅 × 高さ × 奥行き）

980×60×110.5mm

質量

2.7kg

お知らせ

- この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。
- 本製品は、先進的な省電力設計により待機時の消費電力 2W 以下を実現しています。



主な仕様（NS-WSW43）

サブウーファースの主な仕様です。

アンプ部

実用最大出力 100W

スピーカー部

- 形式 バスレフ型（非防磁）
- ユニット 16cm コーン×1
- 再生周波数帯域 40Hz～160Hz
- インピーダンス 2Ω

無線ネットワーク

- 周波数帯域 2.4GHz
- 最大通信距離 10m（妨害のないとき）

総合

電源電圧 AC 100V、50/60Hz

消費電力 19W

待機消費電力 0.8W

寸法（幅×高さ×奥行き）

180×417×405mm

質量

9.4kg

お知らせ

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

対応している HDMI 映像・音声信号フォーマット

本機が対応している HDMI 映像・音声信号です。

音声信号

音声フォーマット	詳細	主なメディア
2チャンネル リニア PCM	2ch、32～192kHz、 16/20/24bit	CD、DVD-Video、DVD-Audio
マルチチャンネル リニア PCM	6ch、32～192kHz、 16/20/24bit	DVD-Audio、BD（ブルーレイディスク）、HD DVD
ビットストリーム	Dolby Digital、DTS、 MPEG-2 AAC	DVD-Video、デジタルテレビ放送

映像信号

次の映像信号に対応しています。

- Deep Color
- x.v.Color
- 3D 映像信号
- High Dynamic Range（HDR）映像信号
 - Dolby Vision
 - HDR10
 - HLG

次の解像度に対応しています。

- VGA
- 480i / 60Hz
- 480p / 60Hz
- 576i / 50Hz
- 576p / 50Hz
- 720p / 60Hz、50Hz
- 1080i / 60Hz、50Hz
- 1080p / 60Hz、50Hz、30Hz、25Hz、24Hz
- 4K / 60Hz、50Hz、30Hz、25Hz、24Hz

お知らせ

- 本機へ接続する方法については、AV 機器の取扱説明書もご覧ください。
- コピープロテクトがかかった DVD オーディオを再生する場合、お使いの DVD プレーヤーによっては映像信号および音声信号が出力されないことがあります。
- 本機は HDCP 非対応の、HDMI や DVI 端子を装備したテレビやプロジェクターには対応していません。HDCP 対応の有無については、お使いの HDMI 機器や DVI 機器の取扱説明書をご覧ください。
- ビットストリーム音声信号をデコードするには、AV 機器がビットストリーム信号をそのまま出力するように、AV 機器で設定を変更してください。詳しくは、AV 機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続したテレビの性能により、伝送する映像信号の解像度などが変わります。
- この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

対応しているデジタル音声信号フォーマット

本機が対応しているデジタル音声信号です。

光

音声フォーマット	詳細	主なメディア
2 チャンネル リニア PCM	2ch、32 ～ 96kHz、 16 / 20 / 24bit	CD、DVD-Video、DVD-Audio
ビットストリーム	Dolby Digital、DTS、 MPEG-2 AAC	DVD-Video

HDMI (ARC)

音声フォーマット	詳細	主なメディア
2 チャンネル リニア PCM	2ch、32 ～ 96kHz、 16 / 20 / 24bit	TV
ビットストリーム	Dolby Digital、DTS、 MPEG-2 AAC	TV

お知らせ

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

対応しているファイルフォーマット

本機が対応しているファイルフォーマットは、以下をご確認ください。

ファイル	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数	ギャップレス再生対応
WAV*	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
MP3	32/44.1/48	-	8～320	2	-
WMA	32/44.1/48	-	8～320	2	-
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	-	8～320	2	-
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓
ALAC	32/44.1/48/ 88.2/96	16/24	-	2	✓
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/ 176.4/192	16/24	-	2	✓

* リニア PCM フォーマットのみ

- メディアサーバー（パソコン/NAS）にインストールされているサーバーソフトにより、再生可能フォーマットが異なります。詳しくはサーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。

- DRM（デジタル著作権管理）により保護されたファイルは再生できません。

お知らせ

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードして読みいただけますようお願いいたします。

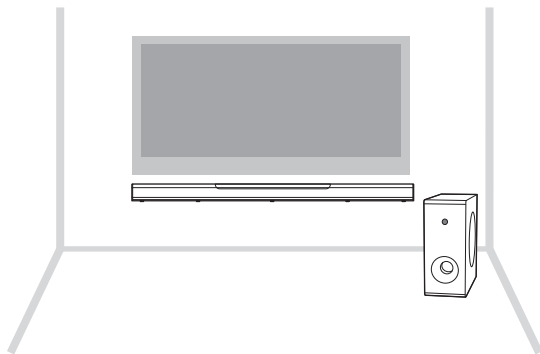
センターユニットを壁に取り付ける

センターユニット背面のネジ掛け穴を使って、壁にセンターユニットを設置します。

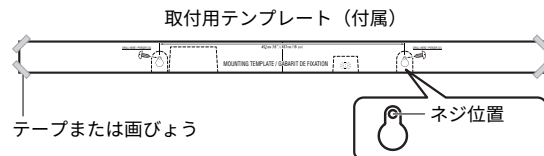


注意

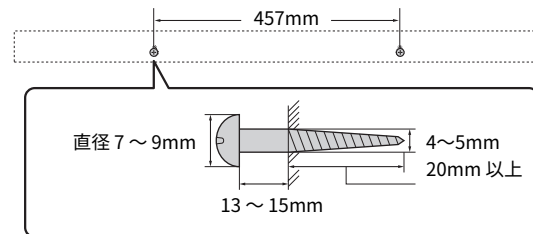
- しっくいやベニヤ板のような弱い材質の壁には設置しないでください。センターユニットが落下する原因になります。
- 市販のネジは、規定サイズで十分な強度があるものをご用意ください。くぎや両面テープ、規定サイズ以外のネジを使用するとセンターユニットが落下し、けがの原因になります。
- ケーブル類は必ず固定してください。誤って手や足に引っ掛かると、センターユニットが落下し、けがの原因になります。
- センターユニットにもたれかかったり、上から強い力をかけたりしないでください。落下の原因となります。
- 設置後、センターユニットがしっかりと固定されていることを確認してください。誤った設置により起きた事故について、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。



- 1 取付用テンプレート（付属品）を壁に仮付けし、ネジ位置の印をつける。



- 2 取付用テンプレートを壁から取り外し、壁につけた印の位置にネジを取り付ける。



3 センターユニットをネジに掛けて設置する。



お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-011-808**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125
北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、
一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する
部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Group
© 2018 Yamaha Corporation

2019年6月発行 NVOD-D0
Printed in China

AV17-0267